

圓、其他ノモノニ付キマシテハ從價三割トナツテ居リマスルガ、今回改正稅率表ニ依テ見マスルト、現行法ノ三分ノ一ノ一割ニ減額ヲシテ居リマス、唯乙其ノ他ト云フモノニ付テハ從價二割五ナツテ居リマス、ソレカラ甲、鹹魚及乾魚ニ付テハ乙其ノ他ト云フ所デ一割五分ニナツテ居リマス、大體ニ於テ三分ノ一二低額セラレテ居リマス、今度此改正法ヲ制定セラレタ時ノ御趣旨ヲ御伺シテ見マスルト、其御趣旨ノ中ニ社會政策ノ意味ヲ含メラレテ居ル、隨テ此魚介類ハ食料品ニアリマスル爲ニ、相成ルベク安いモノヲ食ハセル方ガ宜カラウト云フ御趣旨ニ依テ、斯様ニ企テラレタモノニアラウト察スルノデアリマス、併シ魚ト等シク日常生活ノ重要品タル肉デアルトカ、卵デアルトカ、色色ナ食料品ノ改正セラレマシタ種目ヲ見マスルト、魚介類ノ如ク多額ノ減額ヲシタモノハ他ニ見受ケナイヤウデアリマスカ、當時此改正案ヲ制定致シマスル際ニ御審議ナサレマシタ理由ヲ、先づ以テ御尋シタイト思ヒマス

カト云フ御尋デアリマスガ、申上ゲル
マデモナク魚介類ハ生活ノ必需品デア
リマスシ、又一方カラ見マスト我國ハ
四面海デアリマスカラ、魚介類モ十分
ニ産出サレテ居ルノデアリマス、又沿
海ニ參ツテ出漁船ニ依テ持ッテ參リマス
ナラバは、無稅ト云フコトニモナッテ
居リマス、ソレデ是ハ三割ト云フ如キ
稅率ヲ以テ保護スルマデノ必要ハナ
イ、隨テ是等ハ一般ノ食料品デアルト
云フ關係カラ低イ稅ヲ掛ケル、今日ニ
於テ三割ト云フヤウナ稅率ヲ以テ保護
スル必要ハナカラウト云フ考デ、一割ノ
稅率ヲ適用シタ譯デアリマス、鹽魚ニ
付キマシテモ矢張外國ノ鹽鮭、鹽鱈ト
云フヤウナモノノ關係モ考慮致シタノ
デアリマスガ、大體沿海ニ於キマシテ
ハ出漁船ニ依テ漁獲シテ參ルノデ、相
當ノ生產ヲ見テ居リマスシ、又輸出モ
致シテ居ルヤウナ狀態デアリマスカラ
ラ、特ニ是モ現行ノ率ヲ以テ保護スル
マデノ必要ハナカラウト云フコトデ、
大體是等ノ現況ヲ見テ一割ト云フコト
ニ致シタ次第デアリマス
○佐々木(平)委員 只今ノ御答辯デ能
ク御趣旨ハ分リマシタガ、此改正案ヲ
制定致シマスル時ニ、現在ノ水產業ノ
狀態カラ見テ此上保護スル必要ハナイ
ト云フヤウナ御意思ハ、農林省ニ於テ
モ等シク之ニ御同意デアリマセウカ、
承ル所ニ依レバ當時此關稅々率ヲ改正
致ス際ハ農林省カラモドナタカ御出廣

ニナツタヤウデアリマスガ、只今申サレタヤウナ御意思デアツタノデアリマセウカ、此事ヲ一ツ伺ヒタイ
○小山政府委員 水産ノ事ニ付キマシテハ食糧ノ關係モ伴ヒマスノデ、農林省トシテハ此方面ニモ相當獎勵助成ノ方針ヲ執ツテ居リマス、沿岸漁業等ノ繁殖ノコトモ考へ、更ニ遠洋漁業ハ御承知ノ如ク十四年度ヨリ相當ニ力ヲ致シテ居ル、是ハ要スルニ食糧問題ニ伴ヒ、又一方ハ資源ノ事情カラ考ヘマシテモ、之ヲ益獎勵シテ以テ我ガ水産業ノ發達ニ資シタイト云フノデ、大體ハ其方針デヤッテ居リマス、御尋ノ點ハ近頃日露漁業ガ段々盛ニナッテ參リマシテ、此方面ニハ殊ニ近頃見ルベキ發達ヲ遂ゲ、將來モ益有望ト思ツテ居リマス、蟹工船ノ如キモ其一ツデアリマス、而シテ只今主稅局長カラモ御答致シマシタヤウニ、日露漁業ノ關係ハ日露漁業互惠條約ニ依リマシテ其出漁致シテ居ルモノハ無稅ニナッテ居ル、唯茲ニ佐々木君ノ御尋ノ中デ御尤ト思ハレマスノハ、亞米利加ニ於ケル鹽鮭ノコトデアリマスガ、是ハ氣候ノ關係等デ、亞米利加ニ於ケル鹽鮭ト露領ニ於ケル出漁ノ鹽鮭トハ、其鹽ヲ使ヒマス程度ニ付テモ大分差ガアリマスノデ、是等ノ點モ研究調査致シマシタガ、大體ニ於テ只今御審議ヲ願ツテ居リマス程度デ、更ニ一段營業者ガ努力セラルルナラバ相當ノモノデハナカラウカト考ヘマシタ、

種々研究以致シマシタガ、先ツ此程度
デ妥當デアラウト考ヘマシタ次第デア
リマス、唯農林當局ト致シマシテハ近
時水產方面ノコトニハ、相當ノ力ヲ致
ス積リデ居リマス、又今後其力ヲ致
爲ニ、經費等ニ付テモ種々御協賛ヲ願
フベキモノモアラウト思ヒマス

○佐々木(平)委員 只今ノ御答辯ニ依
リマスト、農林省ニ於キマシテハ、水
產ニ對シテ獎勵助成ニ御力ヲ盡シテ居
ナサル、其事ハ私モ承知シテ居リマス、
唯ソレト相反スルヤウナコトヲ爲サレ
ル爲ニ、私ハ甚ダ疑ヲ持ッテ御尋ヲシタ
ノデアリマス、成程稅率ヲ低クスルト
云フコトハ、贍テ食料品ガソレダケ安
ク供給セラルルト云フコトハ、或ハ其
通リデアリマセウ、併シ此間カラノ御
説明ヲ伺ヒマス、物價ハ關稅ヲ低ク
シタカラト云ツテ、必ズシモ下ルモノデ
ハナイ、斯様ナ御答ヲ度ミ御伺シタノ
デアリマス、今此鮮魚ノ日本ニ輸入ニ
ナツテ居ル金額ハ、總額ニ於テ僅ニ、二
十三萬八千圓デアル、而モソレガ十四
箇國カラ這入ツテ來テ居ル、其中カラ
ノ油漬ヲ除クト僅ニ二十二萬二千圓、
之ヲ一割ニシヤウガ三割ニシヤウガ、
社會政策ノ上ニ何程ノ違ヒガアリマセ
ウカ、又鹽乾魚ニ致シマシテモ、十三年
度ノ表ヲ見マスルト、總額二百七十五
萬五千五百圓餘リデアル、是ト反對ニ
我國ヨリ諸外國ニ輸出シテ居ル水產物
ノ額ハ、稅關ノ手ヲ經マシタモノデモ、

二千五百萬圓デアル、ソレカラ更ニ露
領方面ニ於キマシテ、邦人ガ彼方ニ出
漁シテ日本ニ持ッテ來ナイデ亞米利加、
英吉利或ハ支那ノ方面ニ出シマスルモ
ノ、即チ關稅ヲ經ナイモノダケデモ、私
ノ概算デハ千五百萬圓ヲ下ルコトハナ
イト思ヒマス、之ヲ合セマスト四千萬
圓以上ニナル、四千萬圓以上ノ輸出ハ
我國ニ於ケル生絲或ハ絹織物、是等ノ
次ニ位シテ居リマス、全體カラ見ルト
四億萬圓以上ノ產額ヲ舉ゲテ居ル中カ
ラ、生魚ニ一十三四萬圓、之ヲ無稅ニシテ
モ何程ノ差ガアリマセウカ、私ハ生魚、
鹽乾魚合セテ三百萬圓位、斯カル少額
ナルモノノ稅額ヲ減ズルトカ増ストカ
云フ問題ニ付テ私ハ御尋スルノデハア
リマセヌ、今現行法ノ三割ノモノヲ一
割ニナサルト云フコトハ、極メテ單純
ニ考ヘテ居ルヤウナ御答辯デアリマシ
タガ、私ノ見ル所ヲ以テスルト是ハ重
大問題デアル、何ガ重大問題カト言フ
ト折角政府ニ於キマシテ、此漁業ノ獎勵
助成ヲ爲サレテ居リマスガ、其魚ヲ獲
ル場所ハ何處カ、日本ノ領土デハナイ、
露領沿岸ノコトハ申スマデモナク、日露
漁業協約——今日ハ更ニ「莫斯科」デ條
約ノ改訂ヲ交渉サレテ居リマスガ、此
條約ニ依テ全然無稅デアルガ、日本ノ
人ガ今日四億萬圓以上ノ水產ヲ舉ゲテ
居ル其大部分ハ何處デアルカト云ヒマ
スト、殆ド冲合若クハ遠洋デアル、蟹工
船「トロール」機械手縛、又鯖、鰐ノ如

ギ、今日ハ沿岸ヨリ沖合、沖合ヨリ遠洋
デアル、ソレヲ盛ニ御獎勵ナサレテ居
ル、其場所ハ何處カト云フト、公海デア
ル、支那ノ漁船デモ、英國ノ漁船デモ、
露西亞ノ漁船デモ、其國ノ國旗ヲ立テ、
其場所ニ來テ幾ラデモ獲レル、今御獎
勵ナサッテ居ルノハ、日本ノ行政處分ニ
依テ許可或ハ免許シテ居リマスガ、一
度三浬ヲ離レタ公海ニ出マシテハ、何レ
ノ國ノ漁業家モ自由ニ獲レルノデアリ
マス、何故之ヲ獲テモ、持ッテ來ナイカ
ト云フト三割ト云フ防波堤——垣ガ設
ケラレテアル、三割ノ關稅ヲ拂ヒマシテ
テハ、幾ラ公海デ自由ニ魚ヲ獲リマシテ
モ、日本ニ持ッテ來マシテハ引合ヒマセ
ヌ、併シ一割ニナルト下ノ關、横濱、東
京等ノ沿岸ヲ去ル三浬ノ沖合ニ於キマ
シテ、魚ヲ獲テ持ッテ來マシテモ、一割
ヲ拂ヘバ文句ヲ言フコトガ出來ナイ、
斯ウ云フヤウナ危險ガアルノデアリマ
ス、其事ヲ農林省トシテ御考慮ナサレ
タカ、若シ何モ御考ヘナサレナカッタト
致スト、折角一而ニ於テ助成獎勵ナサ
レテモ、實際ニ於テハ日本ノ漁業家ヲ
壓迫シ、又現在十分海外ニ輸出ノ出来
ル力ヲ持ッテ居ルモノヲ阻止スルガ如
キコトヲナサルノハ、洵ニ不思議デナ
ラス、隨テ私ノ考デハ、此稅率ヲ現行法
ノ儘ニ据置イタ方ガ、輸入シテ來ル魚

○小山政府委員 私ハ御答致スト 同時
ニ、此際農林省ガ水産事業ニ對シテ大
體ドウ云フ考ヲ持ツテ居ル カト云フヨ
トヲ申上ゲマスレバ、隨テ佐々木君ノ
色ニ御質疑ニナリマシタ所ノ御答辯ニ
ナルカトモ思ヒマス、只今御話ノ通リ
我國ノ水産業ハ近時段々發達致シテ參
リマシテ、食糧政策ノ解決ニ資スルト
同時ニ、輸出品トシテ相當ノ數量ヲ増
シテ行キマスカラ、是迄ハ一方ニ於テ農
產物ニ付キ種々ナル御議論モアリマシ
テ、御意見ヲ承ツタノデアリマスガ、私
ハ水產方面ニ付テハ、農政方面ヨリ毛
其聲ガ餘り大キクナイ、私ハ農政方面
ニ於テ種々御研究ニナルト同様ニ、我
國ノ現狀カラ見テ今後水產方面ヘ一段
ノ力ヲ互ニ致シテ、サウシテ調査研究
ヲシテ、此方面ノ發達センコトヲ希望
スルノデアリマス、今迄ハ相當ニ出漁
方面、或ハ其漁獲物ノ調査等モ致シテ
居リマスケレドモ、尙ホ私共カラ見テ
農政方面ニ研究セラルヨリモ、水產方
面ノ研究ガドウモ其聲ガ低イ、是ハ泡
ニ遺憾ナ事デアル、ドウゾ諸君ト協力
シテ此方面ニ一段私共努力ヲ致シタ
イ、佐々木君カラ縷々御述ニナッタ通
じテ此方面ニ一段私共努力ヲ致シタ
ス

有望デアリマシテ、而シテ我國ガ近時此水產方面ニ付テノ研究ガ段々發達シテ、私共耐エ得ルト考ヘテ居ル、之ガ爲ニ遠洋漁業ヲ獎勵シテ「トロール」ノ如キハ佐々木君モ能ク御承知ノヤウニ活動シテ居ル、而シテ我國ノ漁業ガ年年盛ニナツテ參リマス爲ニ、一面ニ於テハ支那海方面ニモ活動シテ居ル、是ガ爲ニ國際關係モ生ジ、露領ノ如キハ日露漁業協約デ我國ハ活動ニ有利ノ立場ニ在ル、唯今日多少吾ミガ見テ當局者ノ立場カラ考慮ヲ致シ、相當ノ研究ヲ致サナケレバナラヌト云フノハ、先刻モ申上ゲタヤウニ薄鹽鮭デス、之ニ付テハ露領方面ニ於テ相當ノ活動ガ出來ルモノト思ツテ居ル、デアリマスカラ今後當局ハ大ニ此點ニ付キ指導獎勵致シ、而シテ一面ニ於テハ内地ニ於ケル冷蔵庫ノ普及ト云フヤウナモノカラ段々敷設ヲシテ參リマスレバ、面目ガ段々改シテ來ル譯デアリマスカラ、將來輸入防遏ニ付テモ私共ハ相當自信ヲ有ツテ向フコトガ出來ルト思フ、唯此問題ハ一方食糧問題ト相伴フ事デアリマスカラ、十分ニ此點モ考慮シナ。ケレバナラヌ事デアル、ソレカラ生鮮魚ニ付テ御意見ガアッタヤウデアリマスガ、是ハ殆ド輸入ハマリマセヌ、鰯ノ油漬罐詰、是ガ二萬圓前後ノ輸入デアリマス、其他ノモノハ二十萬圓前後ト云フヤウナモノデ、佐々木君ノ段々御擧グニナツタ數

字ト、當局ノ見ル所ト少シ變ツテ居リマ
スガ、要スルニ餘リ大シタモノデハア
リマセヌ、而シテ近時漁業法ノ進歩ト
生産費關係カラ見テ、外國人ハ生產費
ノ關係ト漁業ノ方法、施設等ニ對シテ
我國ガ進歩シテ居ルカラ、我國ト競争
シテ行クト云フコトハ出來マイト思
フ、當局ニ於テモ此方面ニ付テハ私ハ
農產方面ヨリモ水產方面ニ付テモウ少
シ力ヲ入レタイ、斯ウ云フ考カラ大體
ノ趣旨ニ於テハ私共佐々木君ノ御心配
ニナルヤウナ點モ相當考ヘマシタケレ
ドモ、日本ノ漁業政策カラ見テ、只今申
上ゲタヤウナ方針ニ付テ進ンデ居ル譯
デアル、隨テ税率ノ點モ今回提出シタ
モノニ付テハ相當慎重ニ審議致シマシ
テ、適當ト認メテ御審議ヲ願ツテ居ル次
第デアリマス、ドウゾ當局ノ水產方面
ニ於ケル大體ノ趣旨ヲ御諒承願ヒタイ
ト思ヒマス

致シマスト云フト、三分ノニ二ノ相違ガアル、今次官ガ御述ニナツタヤウニ折角御獎勵ナサレテ居ルモノヲ獲ル所ハ海デアリマス、是ハ世界ノ何レノ國ノ人デモ自由ニ捕リ得ラレルノデアル、今御述ニナリマシタ所ノ「トロール」或ハ工船、蟹漁業ハ日本政府デ許シテ居リマスケレドモ、是ハ亞米利加ノ政府デモ、又近クハ露西亞ノ政府デモ、支那ノ政府デモ、公海デ魚ヲ捕ルコトハ許シテ居ルノデアル、ソレヲ何故ニヤラヌノカト云ヒマスト、日本ノヤウナ多ク魚肉ヲ食ベル國ニ何故ニ海外ヨリ魚類ガ輸入サレナイカト云フト、茲ニ關稅現行法ノ下ニ於ケル稅率ノ關稅ガアルカラデアリマス、然ルニ此現在這入ッテ來ナイモノヲバ、社會政策トシテ之ヲ態ミ一割ト云フ低減サレタル稅率トルト云フコトニナッテ、今マデアッタ三割ト云フ高イ防波堤ヲ破ルト云フト、是カラ盛ニ輸入ヲ獎勵シ、之ヲ導クト云フコトニモナルノデアリマシテ、ソレデハ切角生産ヲ獎勵セラレテモ、其趣旨ト結果ニ於テ違ヒハシナイカト思フノデアリマスガ、是ハ議論ニナリマスカラ避ケマスガ、日本ノ漁業ノ技術ニ對シテ、外國ノ漁業船ニ對シテ日本人ガ乗込ンデ、サウシテ漁業ニ從事スルト云トガ出來ヌト云フコトデアリマシタガ、外國ノ漁業船ニ對シテ日本人ガ乗

船籍ガ外國ノ船デアル、從業家ハ日本
人ト云フコトニナルノデアツテ、今現ニ
御述ニナリマシタ工船蟹漁業ニシマシ
テモ、又「トロール」ニシマシテモ、之ヲ
獎勵ナサレテ居ル半面ニ於テ、此漁船
ノ隻數ヲ制限シタ、切角獲ルコトヲ獎
勵シテ居リナガラ、此生産ヲ制限シテ
居ルノハ何デアルカト申セバ、獲ルニ
從ツテ餘リニ多ク市場ニ供給スルト、市
場ノ價格ガ暴落スル、ソレデハ生産家
ガ倒レルノデ、茲ニ消費者ト生産者ト
ノ調和ヲ圖ッテセラレタコトデアラウ
ト思フ、所ガ今御答ニ依リマスト、盛ニ
今日ニ於テモ獎勵シ、尙ホ今後ニ於テ
モ獎勵シナケレバナラヌト云ツテ居リ
ナガラ、外國ノ漁船ガ日本ノ沿岸、即チ
三海里ノ沖合ニ來テ、サウシテ漁業ヲ
シテ、ソレヲ日本ニ輸入スルコトモ出來
ルト云フコトニナレバ、隻數ヲ制限シ
タコトト矛盾スル、政府委員デハアリ
マスママイガ、失禮デアリマスガ其處ニ
水產局ノ水產課長モオ居デゴザイマ
シ、水產課ノ技師ノ方モ居ラレルコ
トト思ヒマスルガ、矢張サウ云フ考ヲ
御持チニナルカ、ドウモ次官ノ御答辯
ト、私共ガ實際考ヘテ居リマスル所ト、
其憂フル所ニ於テハ同ジデアリマセウ
ケレドモ、其政策ニ對シマシテハ非常
ナ相違ガアルト思ヒマス、是ハ私ハ決
シテ惡イ考デ申スノデハアリマセヌノ
デ、是ハ水產事業ニ尠カラザル惡影響
ヲ及ボスコトト思ヒマスカラ申上ゲル

ノデアリマス、ソレデ此現行法ヲ變ヘ
ルヨリハ其儘ニスルコトガ宜シイ、之
ニ依テ決シテ消費者ノ負擔ヲ増加スル
ガ如キコトハナイト申シマスノハ、現
在ノ如ク外國カラ這入ツテ來ナイヤウ
ニシテ、サウシテ一面ニ於テ盛ニ生産
ヲ増加セシメタ方ガ政府ノ御考ニナル
社會政策的趣旨ニモ副フコトト思フノ
デアリマス、ドウカ之ニ對シテハ此委
員會ノ終了ニナリマス以前ニ於テ、其
餘地モマダアリマスカラ、十分御考置
キヲ願ヒタイト思ヒマス

○小山政府委員 尚ホ一言申上ゲテ置
キマス、水產ノ對策ニ付テハ先刻申上
ゲタコトデ御諒承ヲ得タコトト思ヒマ
スガ、日本ノ近海、若クハ日本ノ漁業者
ガ出漁シテ居リマスル達洋漁業方面ニ
於キマシテハ、外國ノ漁業者ト我國ノ
漁業者トノ間ガドウ云フ風ナ關係ニ
ナッテ居ルヤト云フコトハ、全ク御承知
ノコトト思ヒマスガ、日本ノ漁業者ハ
到ル處ニ活躍致シテ居リマシテ、行ク
トシテ可ナラザルナシト云フ狀態デア
リマス、外國ノ漁業者等ガ到底我國ノ
漁業者ニ對抗スルモノデハナイ、而シ
テ日本ガ今申ゲルマウナ水產方面ニ於
テノ優秀ナ位置ニ居ル、政府ハ之ニ對
率ナル關稅ヲ課シテ居ルト云フヤフナ
コトカラ考へマシテ、其對策上ドンナ
モノデアラウカ、勿論先日來モ屢申上

ゲマシタガ、關稅ヲ以テ内地産業ヲ保護スルト云フ必要ガアルナラバ、一時ノ犠牲ハ已ムラ得マセヌカラ、其將來ノ對策ヲ致サナケレバナリマセヌケレドモ、此水產漁業方面ノ事ハ只今申上ゲタヤウナ次第ニアリマスカラ、私ハ茲ニ多少ノ率ヲ低下シタカラト申シテ、決シテ我國ノ水產業ノ漁業政策トシテ將來其消長ニ至大ノ關係アルモノトハ思ヒマセヌ、特ニ技術ノ方面ニ於テ、日本人トシテ特性ヲ有シテ居リマス所ノ遠洋漁業等ニ對シテハ相當ニ活躍ヲ致シテ居ルノデアリマス、私ハ先刻來申上ゲマスヤウナ趣旨ニ於テ、當局トシテ今後努力致シマスレバ、此關稅ノ程度ヲ以テ相當ナル成績ヲ舉げ得ルコト考ヘテ居ル譯ニアリマス○長田委員 農產品ニ關スル四五點ヲ伺ヒタイノデアリマスガ、伺フ前ニ私共ノ解シテ居リマセヌ點ヲ承リタイノデアリマス、ソレハ政府案ノ四十三ノ此麥芽糖ト云フ物ハ如何ナル所ニ使用スルノデアリマスカ、ソレカラ五十三ニ「バター」、人造「バター」及「ギー」トアリマスガ、是等ノ解説ヲ承リタイ、ソレカラ其備考ノ所ニ天然「バター」ト云フコトガアリマスガ、是モ承リタイ○矢部政府委員 御答致シマス、四三號ノ麥芽糖、是ハ西洋ノ所謂「マルトース」也、日本カラ見マスト略飴ノ中ニ屬シテ居ルモノデアリマス、飴ノ類ト御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ五十三

號ノ「バター」ト申スノハ即チ天然「バタ
ー」ノ意味デアリマス、牛乳ノ脂肪ヲ分
離シテ製造シタモノデアリマス、人造
「バター」ト申スノハ豚脂ノ如キモノヲ
細工ヲシテ造ツタノデアリマス、ソレカ
ラ是ハ色ニアルヤウデアリマス、普通
ノ脂ヲ水素瓦斯デ瀘過シテ硬化サレタ
モノモアリ、種々ナル方法ガアリマス
ガ、牛乳以外ノ脂其他ヲ調合シテ人造
的ニ捲ヘルモノデアリマス、ソレカラ
「ギー」ト云フノハ印度ノ水牛ノ乳カラ
造リマシタモノデ、天然「バター」ト異
タ所ハナイノデアリマヌ

四號ノ蜂蜜、是ハ輸入ガ六千五百六十
五斤、金額ニシテ三千九百八十圓デア
リマスガ、關稅定率ハ据置ニナッテ居リ
マスガ、今一段ノ關稅率ヲ御引上ゲニ
ナツタナラバ、農家副業トシテ輸入防遏
ガ出來ルダラウト思ヒマスガ、サウ云
フ御考ハアリマセヌカ

○小山政府委員　此峰蜜ノコトハ昨日
カ御尋ガアリマシタノデ御答申上ゲテ
置キマシタガ、如何ニモ農家ノ副業ト
シテ是ハ適當ナモノデアリマス、農林
省ニ於テモ是ハ獎勵致シテ居リマス、
試驗場ニ於テモ蜜蜂ノ研究ヲ致シテ居
リマスガ、多々益其方面ノ獎勵ヲ致

シタイト者ヘマシテ 惠門ノ技師ラシ
テ其研究ヲセシメ、優良品ヲ取入レル
ト云フヤウナ政策ヲ執ツテ居リマス、併
シ此税率ノコトハ、是ハ十三年ノ贅澤

品ニ關スルモノニアリマシテ、既ニ議會ノ御決議ヲ經テ居ル稅目ニナッテ居ルノデ、斯様ニ致シテアル譯アリマス
○長田委員 蜜蜂ヲ副業トシテ農家ニ飼ハシテ見マスケレドモ、ドウモ旨ク成績ガ行カナイノデアリマスカラ、農村ノ副業トシテ、又農林省ノ御教ヲ受ケニ出ルコトガアルカト思ヒマス、五十二ノ鳥獸肉類ノ中、甲牛肉、丙豚肉ニ付テ伺ヒタイノデアリマスガ、此牛肉ニ付テハ稅率ヲオ下グニナッテ居リ、豚肉モ亦從價三割ガ二割ニ下ツテ居リマス、價格デ分リマセヌガ、兎ニ角四圓ト云フモノニナッテ居ルノデアリマスガ、何レモ關稅ノ今一段ノ寧ロ引上ゲシテ戴キタイト云フコトヲ農村ノ者ハ考ヘテ居ルノデアリマス、稅率ヲオ下グニナッタト云フコトニハ非常ニ苦シニシテ居ルノデアリマス、御承知ノ如ク現在農商務省ノ御指導ノ下ニ農家畜牛ヲ御獎勵ニナッテ居リ、吾ニモ亦非常ニ獎勵ヲシ、又畜產品評會ナドモ致シテ本省カラノ御出張ノ下ニ相當獎勵致シ参リマシテ、食牛ノ如キモ大分成績ノテ居ルノデアリマスガ、其結果デアリマセウカ、近時大分畜牛熱モ盛ニナッテリマスガ、是ハ吾ミノ京都府方面デヤツチ居ルコトハ他處デモヤッテ居ルト存好イモノヲ出シテ居ルヤウニ存ジテ居リマスガ、食牛ト雖モ矢張役牛トシテ使ヒマシテ、大概六歳以上ニナリマシ

テ之ヲ急激ニ飼育ヲシテ食牛ニシツツ
アルヤウナ状態デアリマス、之ヲ御保
護下サッテ御獎勵ヲ願ヒマスガ、斯様ニ
外カラ參リマス牛肉ニ對シテノ關稅ヲオ
下ゲニナツテ、消費者階級ノ要求ヲ充ス
ト云フ點ヲ考ヘテ見ルト、ドウモ畜牛獎
勵ノ上ニ大ナル影響モアルヤウニ私ハ
考ヘルノデアリマスガ、此點ニ對シテ
ドウ云フ御考ガオ有リニナルダラウ
カ、殊ニ農林省デハ米麥ノ農耕ノ改良
ニ對シテ非常ニ力ヲ盡シテ行クト云フ
コトニナレバ、今日マデヤツテ居ルヤウ
ナ金肥ノミノ施肥デハ到底生産費ヲ下
ゲル譯ニ行カナイノデアリマス、ドウ
シテモ畜牛ノ下ニ堆肥厩肥ヲ使フト云
フヤウナ方法ニ依テ地力ヲ肥スト云フ
ノデナケレバ、其目的ヲ達スルコトハ
出來ナイト云フコトデアリマスガ、此畜
牛問題ハ所謂農事ノ改良ノ上ニ大切ナ
コトデアルヤウニ思ヒマスガ、其結果
トシテ生ズル所謂六歳以上ニナツタモ
ノヲ一時飼育ラシテ、之ヲ食牛トシテ
賣出スト云フノハ、相當御保護下サル
ノガ當然デアルト思ツテ居リマス、所ガ
現在ヨリ下グラレルト云フノハ甚ダ遺
憾デアリマスガ、之ニ對スル御所見ヲ
伺ツテ置キタイト思ヒマス、豚肉モ亦同
一デアリマシテ、近時漸ク豚肉隆盛ノ
府縣ガ大分アルヤウデアリマス、之ニ
對シテモ一段ノ御保護ヲ下サッテ、之ヲ
獎勵シテ行クト云フコトヲ希望シテ居
ルノデアリマスガ、ドウ云フ御考デア

方面ニ多クアリマシタガ、近年ハ關東方面カラ東北ニ大分朝鮮牛ガ入リマシテ、ソレガ只今申上ゲルヤウニ數年勞役セシメマシテ、而シテ屠殺スルト云フ状態デ、朝鮮カラ入りマス牛ハ十三年ニ六萬七百四十七頭、十二年ハ四萬七千頭、十一年ハ四萬一千頭ト云フヤウニ段々澤山入ッテ來テ居リマス、是ハ只今申上ゲタヤウニ耕作用トシテ使役致シマシテ、數年後ニ屠殺スル譯デ、而モ朝鮮牛ハ價格ニ於テ内地ノ牛トハ大分差ガアリマス、一方ニ於テ内地ノ牛ノ數ハ先刻申上ゲマシタヤウナ數ヲ持ッテ居ル、而モ一面ニ於テハ近時段々肉食ガ殖エテ、國民ノ生活上ニモ今日ハ必需品ト云フヤウニナツテ參ッタモノデアリマスカラ、朝鮮カラ入ル牛ノ關係及内地ニ於ケル畜牛ノ關係、一方ハ國民生活ノ必需品デアルト云フ關係、是等ノ點ヲ考慮致シマシテ、前段申上ゲマシタ率ヲ妥當ト認メタ次第デアリマス

上カラ非常ニ迷惑ヲ感ジテ居ル事實ガ
アル、現ニ岐阜縣ニ於テ先般同農會ニ
會合致シマシタ場合デモ、岐阜縣ノ發
案デサウ云フ困難ガ懇ヘラレテ居ルノ
デアリマス、是ハ内務省ノ管内デアル
カモ知レマセヌケレドモ、アノ乳牛ノ
如キモノデモ農家デ實ハ乳牛ヲ獎勵シ
テ牛乳ヲ搾ル、其牛乳ガ生乳デ村ノ要
求ニ應ゼラレナイ、一應免許ヲ得テ居
ル——牛乳ヲ火力デ殺菌致ス場所ヘ
持ッテ行ッテ再ビ持ッテ歸リ、村ノ人ノ需
要ニ應ズルヤウニシナケレバナラヌト
云フノデ、其點ニ非常ナ苦痛ヲ感ジテ
居ルノデアリマスガ、是等ハ何トカ今
少シク手輕ナ方法デ許可ヲ與ヘルコト
ハ出來ナイモノデセウカ、適當ナル政
府委員ガオ出ニナルナラバ此場合伺
テ置キタイト思ヒマス

牛取締規則ト云フ内務省ノ省令デ取締ルコトニナッテ居ル、此省令ヲ旨ク改正スルコトニ付テ専ラ内務省デ審議中デアリマス、農林省ト致シマシテモ出來ルダケ此點ヲ考慮シ、農村ノ使用ヲ十分ニシャウト云フコトニ付テ研究中デアリマス

○長田委員 農林次官ニ願ツテ置キマスガ、來ルベキ地方官會議ノ節ニハ、是等ノ點ヲ特ニ御含ノ上成ベク簡易ノ方法ニ出デラレルヤウニ願ヒタイノデアリマス

○小山政府委員 委細諒承致シマシタ〇長田委員 次ニ五十三ノ「バター」、五十五ノ「コンデンスマilk」ニ付テ御伺ヒ致シマスガ、「バター」ハ据置ニサレマシテ、五十五ノ「コンデンスマilk」ハ値ヲ上ゲテ居ラレルノデアリマス、併シ是ハ農村ノ關係ヲ少シク離レテ、實ハ「コンデンスマilk」ノ方ハ練乳裝置ヲ持ツテ居ル森永工場トカ、其他ノ工場トカ云フモノノ利益ヲ保持スルマス、吾ミノ關係カラ見テ、矢張乳牛ノ獎勵ト云フコトニ結局ナルノデアリマス、乳牛ノヲ獎勵致シテ居リマス所謂

酪農事業ノ獎勵ノ側カラ見マスト、毎日集メタ牛乳ヲ都會ノ地ヘ運ブコトガ出来マスナラバ、生乳トシテ賣ルコトナケレバナラヌト云フ狀態ニナツテ居リマス、當事者ノ方カラハ此「コンデンスミルク」ニ對スル十三圓四十錢ノ改正稅率ヲ、今一段值上ヲシテ貰ヒタイト云フ要求ヲシテ參ツテ居リマス、サウシテ外來ノ「コンデンスミルク」ニ對抗シテ内地品デ十分補フヤウニシタイ、是ハ價格ノ上パカリデナク、現在ノ多數ノ國民ハ今尙ホ舶來品ハ必シモ優良ナリトノ觀念ガアリマスガ、實際ヲ調べテ見ルト外來品ハ多クノ歲月ヲ經テ居ル點カラ見テモ、内地品ノ方が優良ナ譯デアルノデスガ、併シ現實ノ事實ニハ如何トモシヤウガナインデアルカラシテ、今一段關稅ヲ上げテ之ヲ保護シテ貰フノガ、國民保健ノ上カラモ必要デアラウト云フ要求ヲシテ居ルノデアリマス、此點ノ御考ヲ伺ツテ置キタイ、「バター」デモ矢張同ジ關係ニ於テ、吾々ハ内地產ヲ以テ内地ノ消費ヲ充シ得ルモノト信ジテ居ルノデアリマスガ、此力ヲ持ツテ居リナガラ矢張舶來品ヲ尊敬シ、舶來品ヲ使用スル向ガ多イヤウデアリマスカラ、是等ハ關稅ヲモット引上ダテ、矢張「コンデンスミルク」ト同ジヤウナ觀念ノ下ニ之ヲ保護スル必要ガアルト考ヘマス

アルト云フ見地カラ、大正八年十一月二十八日ヨリ大正十三年三月十一日迄免稅サレテアッタノデアリマス、關稅ハ一厘モ掛ッテ居ラナカッタノデアリマス、此間ニ於テ然ラバ農家養鶏業ノ消長ハドウ云フ風デアッタカト云フコトヲ數字ヲ以テ調べテ見マスト、關稅ノミノ保護ニ依テ居ルモノデアリマスルナラバ、此大正八年カラ十三年ニ至ル數年間ニ於テ、著シク内地養鶏業ニ脅威ヲ及シタ事ガ、數字ノ上ニ現ハレテ來ナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、實際ニ於キマシテハ此關稅ヲ免稅セラレテ居リマシタ數年ニ亘テ、内地養鶏業ガソレ程不振ニナッテ居リマセヌ、數字ハ相當ニ其事實ヲ現ハシテ居リマス、若シ數字ノ事ガ必要デアリマスレバ、他ノ政府委員ヨリ詳シク御説明ヲ申上ゲマスガ、是等ノ事情カラ見マシテ、此關稅ガ復活セラレマシタノハ大正十三年四月一日カラデアリマス、過去ノ事實ト關稅復活後ノ事實ト相對照シテ見マシテ、現在四圓五十錢ノ稅率ニアリマスルナラバ、私共ハ先程申上ゲマシタヤウニ我國農家副業ノモ大切ナルモノノ一トシテ見テ居リマス所ノ養鶏業ノ飼育ノ方法、及產卵能率ヲ舉グマス所ノ人工的研究、是等ノ關係カラ種々考ヘテ見マシテ、現在ニ努力致シマスルナラバ、鷄卵ノ自給

ヲスルト云フコトガ餘り遠キ將來ヲ出
デズシテ、此豫定ガ運ブヤウニナリマ
スナラバ、六年ヲ以テ今一千數百萬圓
ノ輸入ニモナラウト云フ此一大事業ヲ
完成スルコトガ出來ルデアラウ、斯ウ
考ヘマシタヤウナ譯デアリマス、只今
申シ上ゲマシタヤウニ免稅セラレテ居
リマシタ數年ト、其事業ノ消長ト、ソレ
カラ復活シテカラノ其事業ノ關係ヲ相
對照シテ見マシテ、私共ハ左様ニ考ヘ
テ居ル譯デゴザイマス、事實ガ數字ノ
上ニ現ハレタコトヲ基礎ト致シタ譯デ
ゴザリマス

○長田委員 一寸伺ヒマス、免稅ハ八年
年カラ十三年迄デアリマスカ

○小山政府委員 大正八年十一月二十八日カラ大正十三年三月三十一日迄免
稅サレテアツタノデゴザイマス

○加藤委員長 長田君マダ長クアリマ
スカ

○長田委員 マダ相當アリマス

○加藤委員長 ソレデハ午後ニ致シマ
ス、午前ハ是デ休憩致シマス

午後零時六分休憩

午後一時二十九分開議

○加藤委員長 是ヨリ關稅定率法中改
正法律案ノ質疑ヲ續ケマス——工藤鐵
男君

○工藤委員 私ハ後デ宜シウゴザイマ
ス

○加藤委員長 工藤君後ニシマスカ、
ス

○神部委員 五十三、五十五ニ付テ政
府委員ニ御尋ね致シタイト思フノデア
リマス、即チ乳製品ノコトデアリマス、
乳製品、即チ「バタ」ニ於キマシテモ、練
乳、粉乳ニ於キマシテモ、今日ノ所デハ
最早國產品ヲ以テ十分自給自足ガ出來
ルト思フノデアリマス、ソレニ現今ハ
日本品モ非常ニ品質モ優良デアリマシ
テ、且ツ價格モ廉イノニ拘ラズ、外國輸
入品ガ國產品ヲ壓倒シテ居ル原因ハ、
一ツハ先刻長田君ノ質問中ニモアリマ
シタガ、一般需要者ガ舶來品崇拜ノ傳
統的迷信ニモ依ルデアラウト思ヒマス
ケレドモ、一ツニハ又商人ノ利益ガ日
本品ノ方ガ舶來品ヨリ非常ニ利益ガ少
ナイノデアリマス、日本品ハ御承知ノ
通リ四十八入リ一函、是デ僅カ商人ノ
利益ト云フモノハ二圓位シカナイ、舶
來品ハ其二倍半、殆ド五圓位アルサウ
ニ私共調査致シテ居リマス、是ガ爲ニ
乳製事業ハ非常ナ不振ニ陥ツテ居リマ
シテ、隨テ折角發達致シマシタ畜產モ
頗ル窮境ニ陥ツテ居ルノデアリマス、其
一例ヲ舉ゲテ見マスレバ米國ノ、現在ノ
牛乳ノ價ハ一升ガ十九錢乃至二十錢デ
農民カラ供給致シテ居ルニ拘ラズ、我
國ノ農業ハ、其根本ノ農業組織ガ異ツテ
居ルニモ拘ハリマセズ、米國ノ牛乳ヨ
リモ廉イノデアリマス、其一升ノ價ハ
十五錢乃至十七錢デ供給ヲ致シテ居ル
次第ニアリマス、如何ニ我國ノ畜產農

家ガ困ヅ居ルカハ此一事デモ分ルコトデアリマス、敢テ之ニ付テハ多言ヲ拜ノ迷信ヲ解キマスニモ色ニアリマセモ、之ニハ相當ノ歲月ヲ要スルノデアリマシテ、急ノ間ニハ合ハヌノデゴザイマス、寧ロ此際思切ツテ高率ノ關稅ヲ課シテ、輸入品ヲ妨遏シ、品ノ良イ價ノ廉イ國產品ヲ消貿者ニ薦メタナラバ、アリマス、實ニ是ハ一舉兩得デアルヤウニ思フノデアリマスガ、政府ハ之ニ付テノ産業保護ノ政策上ニモナルノデアリマス、實ニ是ハ一舉兩得デアルヤウニ思フノデアリマスガ、政府ハ之ニ付テノ御考ハ如何ノ御考ヲ持ツテ居ラレルカ、之ヲ承リタイ、次ニハ明治四十三年關稅率制定ノ際ニハ「バタ」ニ於テハ從價四割デアル、又 乳ニ於テハ從價二割デアッタノデアリマシタガ、爾來物價ハ非常ニ騰貴ヲ爲シテ居ル結果、今回ノ改正率ハ從價ニ依テ見マスレバ、政府ノ示サレタ此原案ノ如ク「バタ」ハ二割五分デアル、練乳ハ一割五分デアリマスガ、率ニ於テハアベコベニ下ッテ居ル、四十三年ノ當時ニ四割乃至二割ノレタ根據ハ何レノ所ニアルカ、其御考モ承リタイ、第三ハ「バタ」ノ關稅ニ付テ伺ヒタイノデアリマスガ、練乳、粉乳

關稅ハ從量稅トシテ從來ヨリ少シ上ツ
テ居ルノデアリマスガ、「バタ」ハ据置
デアルノデアリマシテ、之ヲ從價ニ致
シマスルト、非常ナル低率ニナッテ居ル
ノデアリマス、倘其國產「バタ」ノ生產
原價ハ百二十目一斤ト致シマシテ、一
圓二十錢デアリマス、現在外國品ハ關
稅ヲ加ヘマシテモ一斤、日本ヘ着シマ
シテ後、其價格ハ一圓二十錢デアルノ
デアリマス、只今ノ所デハ多クハ濠洲
加奈陀方面ヨリ輸入サレテ居ルヤウデ
アリマスガ、是ハ爲替相場ノ復活ト共
ニ外國品ハ漸次廉クナル勘定デアリマ
スカラ、日本生産ノ原價以下ニナルト
思フノデアリマス、殊ニ統計ニハ別段
現ハレテ居リマセヌガ、最近西伯利方
面ヨリ關稅ヲ加ヘマシテモ一圓以下ノ
「バタ」ガボツボツ日本ニモ輸入サルル
ヤウデアリマスガ、斯ウナリマスト、國
產品ノ非常ナル脅威デアル、今ヤ倫敦、
紐育市場デモ此西伯利「バタ」ノ爲ニ一
大脅威ヲ來シテ、歐米各國共ニ自國產
業保護ノ爲ニ種々ノ方法ヲ講ジツツア
ルトノコトデアリマスガ、政府當局ハ
此「バタ」關稅ヲ其儘ニシテ、我國ノ畜
產農業ヲ保護シ得ルト云フ御自信ガア
ルノデアリマセウカ、是等ニ付テノ御
申上ゲルマデモナク、需要者ハ中流以
上ノ階級デアルノデアリマス、之ニ反
シマシテ、「バタ」ノ生産業者ハ即チ小

農デアルノミナラズ、農業振興上最モ
意義アル此地力ヲ肥シテ多量生産ヲ爲
ス農業ノ基礎ヲ作ル遊畜農業者デアル
ナラズ、社會政策ノ見地ヨリ致シマシ
テモ、此「バタ」關稅ノ引上ヶハ當然ナ
リト私共考ヘテ居ルノデアリマス、政
府ハ此點ニ付テ如何ナル御考デアリマ
スカ、以上ノ三點ニ付テ御伺致シマス
○小山政府委員 只今御尋ノ第一ハ
「バター」ノコトデアリマスガ、是ハ我國
デハ明治初年カラ「バター」製造等ガ行
ハレテ居リマス、段々生活ノ關係デ其
需要ヲ増シテ參リマシタガ、歐洲戰爭
等ノ關係上、其消長ハ御承知ノ如ク著
シキモノガアリマスケレドモ、戰後又
其輸入ヲ増シテ參ルト云フヤウナ事デ
アリマシタガ、併ナガラ内地ニ於キマ
シテモ、此供給ハ漸次進ンデ參リマシ
テ、我ガ内地ニ於テハ北海道、東京、千
葉縣、靜岡縣等ガ主ナルモノデアリマ
シテ、外國品ハ大部分加奈陀、濱洲、北
合米衆國等カラ輸入セラレテ居ツタノ
デアリマスガ、近來農林省トシテモ家
畜事業獎勵ヲ致シマシタ結果トシテ、
又一方農家ノ副業或ハ肥料關係ト云フ
マス、酪農組合等ニ於テモ產乳利用法
等ニ付テモ段々研究ガアリマス、北海
道ニ於キマシテハ將來五十萬頭計畫ヲ
樹テテ、其計畫ノ下ニ今進ンデ居ル譯

デアリマス、今御話ノ通り、此バター
ノ舶來品ニ對スル所ノ迷信ト申シマス
カ、舶來崇拜ト申シマスカ、洵ニ我國ノ
品質カラ申シマシテモ、相當其聲價ヲ
高メテ居ルニ拘ラズ、御說ノヤウナ狀
態ニアルト云フコトハ、私共甚だ遺憾
ト思ツテ居ルノデアリマス、本業ニ付キ
マシテハ、農林省ノ試驗場ニ於キマシ
テモ、ソレゞ試驗ヲ經マシテ、今日デ
ハ實ニ優良ナルモノガ出來ルヤウニ
ナツテ參ツタ譯デアリマス、併シ一方舶
來品ノ輸入ト、本邦内地ニ於ケル本業
ノ發達ト、兩様研究致シテ見マシタ結
果ガ、現關稅ヲ以テ妥當ノモノト認メ
マシテ、之ニ依テ從來助長致シテ參リ
マシタ家畜政策ニ對シテ、非常ナル脅
威ヲ受ケルトハ感ジテ居リマセヌ、今
後尙ホ午前ニ御説明ヲ申上ゲマシタ十
五年度豫算ニ於テ御協賛ヲ願ヒマス所
ノ、農村振興費中ノ施設等ニ對シテ御
協力ヲ願ヒマスレバ、相當ノ効果ヲ舉
ゲテ行ケルト思ツテ居ル所デゴザイマ
ス、ソレカラ練乳ノ御尋デアリマシタ
ガ、是ハ私縁返シテ申上ゲマシタヤウ
ナ事情デアリマシテ、一方ニ於テハ強
ク之ニ對シテノ消費者方面ノ主張モア
リマス、併シ先ニモ申シマシタヤウニ
本業ニ對シテノ内地品ガ相當ニ優良ノ
モノデアリマシテ、唯舶來品ノ宣傳等
ト云フヤウナ點ヲ考慮致シマシテ、前
私ガ申上ゲマシタヤウナ次第ヲ以テ、

○飯塚委員 只今御説ヲ聽キマシタ
ガ、例へば同業者ノ言フ所ニシマスト
云フト、日本ノ牛乳ト舶來ノモノデハ
品質ガ劣ラナイ、而シテ實際ニ於テハ
今回ノ八圓幾ラ上ゲテモマダ足リナイ
ト云フヤウナコトヲ頻ニ言ウテ居リマ
ス、サウシテ舶來品ト云フモノハ現ニ
值ガ高ク商ハレル、例へば舶來ノモノ
ハ五十錢デアル、日本ノモノハ四十錢
デアル、ソレデモ尙ホ舶來ガ賣レルノ
デアルト云フコトハ事實デアリマシ
テ、サウシテ今申サレル通り舶來品ト
云フモノヲ國民ガ高クテモ使フト云フ
コトハ、少シ迷信ニ屬シテ居ルト云フ
ヤウナコトヲ言ヒマスガ、如何ニ迷信
デモ何デモ此品ハ高クテモ賣レル、物
ガ高クテモ仕方ナイト云フコトニ委シ
テ置クト云フトハ、其產業ト云フモノ
ハドウシテモ私ハ保護ハ出來ナイト思
フ、故ニ其果シテ迷信ダカ迷信デナイ
カト云フコトハ非常ニ疑問ダト思フ、
迷信ナラバ是ハ仕方アリマセヌガ、私
ハ迷信デナイト思フ、ソレデ實ハ初ノ
時ニ此價格ノ保護稅ヲ盛ル時ニ、所謂
分ヲ掛ケレバ、其產業ガ保護出來ルカ、
或品物ヲ保護スル時ニハ、例へば沖着
値段ト云フモノヲ標準トシテ、二割五
所謂保護出來ルカ出來ナイカト云フコ

トハ外國ノ品ト日本ノ品物ガ、或市場ニ於テ正當ノ競争ニ堪エ得ルダケノ保護ヲシナケレバナラヌ、其保護稅ト云フモノヲ盛ル基礎ハ沖着値段デモ宜イケレドモ、一割五分ニスルカ、三割五分ニスルカト云フ所ハ、所謂市場ニ於テ日本ノ品ト外國品ト正當ニ競争出來ルマデ盛ラナケレバ、本當ノ保護ハ出來ナイ筈デアル、若シ正當ニ保護出來得ルト云フマデ盛ツテ保護シャウト云フ考デアルナラバ、其點ト云フモノハ、小賣相場ト云フ所ニ置イテ、向フノ品ト日本ノ品ト競争出來ルマデ保護シナケレバ、保護ノ目的ハ達セラレナイ、然ルニドウモ此保護ヲ盛ル所ハ、ドウシテモ前ニ言フ通り、沖着値段ト日本ノ品ノ工場ヲ出ル其間ニ於テ、其等差ノ點ダケラ保謹金トシテ盛ツタト云フコトガ今日迄ノ保護ノ盛リ方ダト云フコトヲ、大藏大臣カラモ亦當局カラモ御説明デアリマスケレドモ、私ハサウヂヤナイ、ドウシテモ小賣相場ノ點ニ於テ、ソコデ盛ラナケレバナラヌ、斯ウ云フ私ハ主張デアリマスガ、此牛乳ノ如キハ一例デアリマス、現ニ沖着値段カラシマスルト云フト、恐ラク外國ノ沖着値段ト、ソレカラ日本ノ牛乳製造者ノ間ノ其等差ト云フモノガ丁度平均シテ保護出來ルト必ズ當局ノ方ハ思ツテ、八圓幾ラト八圓幾ラト云フモノガ盛ラシタ、其等差ト云フモノガ丁度平均シテ保護出來ルト必ズ當局ノ方ハ思ツテ、八圓幾ラトサシタニ相違アルマイ、ソレデ略十分

ナリト認メラレタノデアラウト思フ、然ルニ實際ニナルト賣值ガ賣所へ行クト日本ノ品物ハ小賣ヘ行クト二圓ニナルガ、彼ハ五圓ニナル、斯ウ云フ販賣値段ニ於テ大變等差ガアリマス、日本ノ品物ヲ賣ルト販賣費ガ二圓デス、外國ノ品ハ五圓デ賣レル、斯ウ云フ等差ガアリマスカラ、商人ハドウ云フコトヲ言フカト云フト、品物ハドウデモ儲カルモノヲ賣レバ宜イト言フ、片方ハ二圓ダカラニ圓ノ廣告費ヲ使テモマダ一圓儲カル、斯ウ云フコトデアリマス、嘘デモ何デモ外國ノ品ガ滋養ガアルトカ何トカ色ンナコトヲ言ッテ宣傳シテ居ルノデアリマス、日本人ハ迷信デハナイ、消費者ハ知識ガ少イカラ、唯此品ガ能ク利クト云ヘバ其品物ガ良イト思ッテ、外國品ダカラ良イノデハナクシテ、宣傳ニ乗ッテ斯ウ思フノデアル、故ニ宣傳費ヲ澤山使フト云フヤウナコトハ、結局其品物ガ澤山儲カルカラ、其儲カルカラ賣レルコトニナル、其故ニ沖着値段ト工場ヲ出ル所ニ於テハ平等ニ競争ノ出來ル、詰リ八圓幾ラト云フモノデ競争ガ出來ルモノデモ、日本ノ牛乳ト云フモノガ販賣費ト云フモノヲ二圓シカ使ヘナイ、外國ノモノハ五圓使ヘルト云フコトデアルナラバ、ソコデ三圓ノ差ガアリマス、其宣傳費ニ依テ常ニ日本ノ品物ガ賣レナクテ、外國ノ品物ガ賣レルト云フナラバ、政府當局者ガ日本ノ畜産業ヲ保護スル爲ニ八圓

、デ保護十分ナリト認メテモ、事實ニ於テハ外國品ガドンヽ賣レテ、日本ノ牛乳ガ賣レナケレバ保護ノ目的ハ達セラレナイト云スコトニナル、是ハ事實デ多クノ舶來品ト云フモノハサウ云フ風デアリマス、是ハドウ云フ事ダト云フト、全ク日本ノ畜産業ト外國ノ――亞米利加ノ鷺印ノ牛乳ト云フモノノ比較ガソレダケ向フノ方ガ進歩シテ居ル、今マデ大藏省デハ生産費バカリニ付テ產業ノ何レガ進歩シテ居ルカヲ比較シマスケレドモ、今日ノ產業ト云フモノハ生産費ト販賣費ト、ソレカラ儲ケ、是ダメスケレドモ、販賣費ト云フモノハ殖エテ行クヤウナ傾ニナツテ居リマスカラ、其產業ガ何レガ進歩シテ居ルカト云ヘバ、其販賣費ト云フモノヲ澤山使フコトガ出來レバ、詰リ其產業ハ進歩シテ居ル產業デアル販賣費ノ方ニ五圓使ヘルダケノ產業ト、販賣費ノ方ニ二圓シカ使フコトノ出來ナイ産業ヲ比較シタラ、矢張販賣費ニ五圓使フ所ノ產業ガ進歩シテ居ル產業デアル、此產業ト對抗スルノニハ、矢張生産費ノ差額ヲ見ルト同時ニ、販賣費ノ差額ヲ見テ、ト云フナラバ――二圓三圓ノ差ガアルナラバ、販賣費ノ三圓ト云フモノモ矢張競争費ト見テ日本ノ産業ガソレダケ劣ツ居ルモノト見テ、是ダケ關稅ヲ

掛ケナケレバ、其産業ト云フモノガ正當ナル競争ガ出來ナイ理窟ニナル、デ牛乳ノ如キハ其例ダト私ハ思フ、大藏省ハ從來關稅ノ保護金ヲ盛ル標準ガ、此生產費ト云フモノノ差額ダケヲ保護スレバ十分ナリト見タケレドモ、今日ハ生產費バカリデハナイ、販賣費ニ於テモ、今日彼方ガ非常ニ進歩シテ餘計販賣費ヲ用フルコトガ出來ルナラバ、我國ノ販賣費ト向フノ販賣費ノ差ダケハ保護金ニ入レナケレバ十分ノ保護ト云フモノハ出來ナイト云フノガ、此牛乳ニ於テ明ニ分ル事デアル、何トナレバ、此亞米利加ノ鷲印ノヤウナモノハ、大藏省ノ見積リ、農林省ノ見積リデハ八圓何十錢ト云フ保護金デ十分ノ保護ガ出來ル、競爭ガ出來ルト見タケレドモ、事實ニ於テ販賣費ト云フモノハ向フデハ五圓出セルカラ、市中ニ於テ日本ノモノヨリカ販賣費ニ於テ勝ツカラ、常ニ高クモ賣レルト云フコトニナラウト思フ、デ今言フ通り高クモ賣レルト云フコトハドウ云フコトダト言フト、決シテ迷信デハアリマセヌ、舶來品ヲ皆希望スルト云フコトハ、日本國民ノ迷信デハアリマセヌ、此販賣費ヲ澤山使フ、其宣傳ガ上手デアル、宣傳ガ上手デアルカラシテ宣傳ニ乘ルカラ、日本國民ガ舶來品ヲ使フノデアル、其宣傳費ト云フモノヲ能ク考ヘテ、一ツノ進歩シタ産業ナラバ宣傳費ヲ使ヘルカラ、ソレモ尙ホ競争費ト見テ考慮シテ、其生

産費ノ差ト販賣費ノ差トヲ見テ保護關稅ヲ盛ラナイト、何時モ斯ウ云フ例ガト云フコトデハ、是ハ八圓三十錢ニシテモ尙ホサウ云フ差ハ出ルト私ハ思フノデス、是ハ迷信デハナクシテ、確ニ八圓三十錢デハ日本ノ牛乳ト外國牛乳トノ正當ノ競争ハ出來ナイト私ハ考ヘル、デスカラ今度ノ八圓三十錢ト云フモノヲ積ッタノデ、果シテ日本ノ事情ニ於テ日本ノ牛乳ト外國ノ牛乳ト競争ニ堪ヘルト云フ計算ヲ一ツ示シテ戴キタイト思フ

ヲ申スト商標ヲ澤山持^ツテ居リマス、即チ「マーク」ヲ澤山持^ツテ居リマス、サウシテ一ツノ會社、デ甲ノ「マーク」ヲ貼リ、乙ノ「マーク」ヲ貼リ、丙ノ「マーク」ヲ貼リ、サウシテ市場へ出シテ自ラ自分ノ仕事ヲ輕ンズルヤウナ實跡ガアルノデアリマス、ソレデ品質ハ外國品ヨリモ遙ニ優良デアッテ、確ニ國民衛生保健ノ上カラ見テモ、滋養分モ多クシテ、何ガ爲ニ外國品ノ脅威ヲ受ケルカト云フト、自分ノ遣方ニ於テ顧ミル所ガナケレバナラヌト私ハ考ヘル、此事ニ付テハ當業者ニ對シテ深ク其自省ヲ農林省ハ促シテ居ル譯デアル、外國カラ來ル品物ハ御承知ノ如ク一定ノ商標ニ依テ、サウシテ統一アル販賣政策ヲ執^ツテ、ソレニ多額ノ宣傳費ヲ使^フテ、サウシテ我國ノ弊風デアル舶來品嵩拜ト云フヤウナ點ニ付ケ込ンデ、自分ノ品物ヲ賣ラウト致シテ居ル、元來申スト我國ノ販賣組織ノ上カラ申スト、大局ニ眼ヲ着ケルコトナクシテ、唯目前ノ利ニ追ハレルト云フコトハ私共モサウ云フコトハ所ニ見聞シテ居ル、モウ少シ國家産業ノ大局カラ見テ、サウシテ此國家産業ノ將來ノ見地カラモ考ヘテ、當業者ガ自醒シテ、自覺シテ、以テ共同シ、協力シテ、サウシテ一方ニハ相當ニ強キ反對ノ主張アルニ拘ラズ吾ミガ此事業ノ發達ヲ將來ノ爲ニ——自給自足ノ出來

ルト云フ將來ノ爲ニ此産業ノ保護ヲシヤウト云フノデアル、之ニ對シテハ段ノ御説ガアリマシタケレドモ、此事ニ對シテハ確ニ當業者ニ私ハ一段ノ自覺ヲ促サナケレバナラヌト思フ、多數ノ商標ヲ以テ——十一ノ會社ガ數十二餘ル商標ヲ以テ彼方ヘ行ッタリ此方ヘ行ッタリ、非常ニ右視左眄シテドノ商標デ賣ラウカト云フヤウナコトデハイカヌト思フ、此事ニ付テハ御協賛ヲ得マシテハ此法律ガ發布スルコトニナリマス以上ハ、農林當局ト致シマシテハ當業者ヲ集メテ深ク其自醒ヲ促シ、國家産業ノ爲ニ一段協力シテヤルヤウニト云フ覺醒ヲ促ス決心デ居ルノデアリマス、ドウゾ其意ノアル所ヲ御諒承ヲ願ヒマス

イ、彼等ノ如何ナル方法ニ依テモ、販賣費ヲ五圓使^シテモ、尙ホ利益アルダケニ産業ガ進歩シテ居ル、日本ハ今言フ通リ二圓シカ使ヘナイト云フコトハドウ云フコトカト云フト、結局同士討ト云フヤウナコトヲヤツテ居ルカラ、産業ガ實際ニ進ンデ居ラヌ、其進マナイ日本ノ産業ニ於テハ、生産費ニ於テモ尙ホ八圓ダケノモノヲ保護セラレナケレバ外國ト競争ガ出來ナイ、販賣費ニ於テモ向フハ五圓使フ、此方ハ二圓シカ使ヘナイト云フト、産業ハソレダケ進歩シテ居ナイコトニナル、産業ガ進歩スル迄ハ保護ト云フモノハ無論ヤラナケレバナラヌ、産業ガ進歩シテ居ナイカラ其進歩シナイ所ノモノニ保護スルト云フコトニナレバ、生産費ノ彼ニ及バナイ所ヲ保護シ、販賣ニ於テ及バザル所ヲ保護シテヤウナケレバナラヌコトハ極^シテ居ル、併ナガラ今農林省ノ當局ノ言ハレル通り、生産費ニ於テハ八圓幾ラト云フ保護ハ十分デアル、彼ハ五圓ノ販賣費ヲ使ヒ、日本ハ二圓シカ使ヘナイト云フナラバ、向フノ方ガ多ク賣レルト云フコトニナル、之ヲ十分ニ保護シヤウトスルナラバ、消費者ノ點カラ云^ツテモ是デハ産業ハ十分ニ保護出來ナイ、ドウシテモ將來十分ニ保護シテヤラナケレバナラヌ、マダ足ラナイ足ラナイト言フテ居ルナラバ、產業ノ進歩ト云フモノハシナイノデアルカラ、只今農林省當局ノ言ハレル通り、

此點ニ於テ尙ホ一段當業者ニ向ッテ保護ヲ加ヘテ、其販賣ノ組織ノ改善ヲ爲シ、而シテ彼ガ五圓販賣費ニ金ヲ使ッテ居レバ、日本モ尙ホ五圓、六圓ノ販賣費ヲ使ッテ、サウシテ外國ト競争スルダケニ協力一致シテヤレト云フコトヲ當業者ニ向ッテ勧説スルト同時ニ、之ヲ勧告スル積リデアルト云フコトニ付テハ、私ハ大ニ意ヲ強フ致シマス、併シ獨リ牛乳バカリデナク、總テノ製造工業ト云フモノハ販賣ノ組織、生産ノ組織方法ガ非常ニ不備デアル、言ヒ換ヘテ見レバ協同一致シナイ、皆同士討ヲシテ居ルヤウナ狀態デアリマシテ、之ヲ保護スルコトニ對シテ、方法ガイケナイト云フト、消費者ニモ影響スルノデアルカラ、或ル程度迄保護ガ出來タナラバ販賣ノ統一、販賣ノ改良ノコトニ付テ、總テノ生産業ニ付テ一ツ御努力アランコトヲ希服致シテ置キマス

○黒田政府委員 只今ノ御話ニ付テ一寸申上ゲテ置キマス、生産費ト關稅トノ關係ニ付キマシテ色ニ御述ベニナリマシタガ、御說洵ニ御尤ト考ヘルノデアリマスガ、唯生産費ト申シテ居リマスモノニ付テ吾ニガ考ヘテ居リマスモ、多少同ジャウナ趣旨ニアルノデアリマスガ、其點ハ若シ誤解ガアリマシテハイケマセヌノデ、一應申上ゲタイト思ヒマス、過日大藏大臣ガ説明致シマシタ際ニモ、沖着ノ價格ト工場ヲ出ル價額ヲ比較シテ御説明ニナッタノ

ニアリマス、工場ヲ出ル價格ト云フコトヲ申シマスト云フト、區別ガアラウト思フ、或ル品物ヲ擁ヘマスノニ原料ガ幾ラ、加工費ガ幾ラ、ソレヲ以テ生産費ト云フコトニ致シマスト云フト、工場ヲ出ル價格ト云フモノハ必シモ其價格トハ同ジデナカラウト思フ、市場ニ於キマテ相當ナル競争ヲ致シマス上ニ於テシテ相当ナル競争ヲ致シマス上ニ於テハ、或ル飯塚サンノ御話ノヤウニ販賣費ノ要ルコトモアリ廣告費ノ要ルコトモアリマセウ相當ナ費用トシテ色ニ必要ナ費用ガアラウト思フ、小賣ニ對シマスル儲ケトカト云フ風ナモノモ勿論ニナリマシタヤウニ、販賣費ト云フモノガソコニ見ラレナクテハナラヌト云フコトモ言ヒ得ルト考ヘルノデアリマス、即チ工場ヲ出ル價格トモノトハ所謂生產費——狹イ意味ノ生產費トハ必シモ一致シテ居ラヌト考ヘテ居リマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○長田委員 午前ノ續ヲモウ一度願ヒバ、外國品トノ競争ト云フモノハ對等ニ出來ナイノデアリマス、ソコデ若シ販賣費ガ陸揚カラ五圓掛ルト云フコトガ假ニ相當ナル經費ト致シマスレバ、サウスルト云フト内地ノ品物ヲ出シマスニシテモ、矢張其レ相當ナル五圓ト云フ價格ヲ販賣者ニ利用サセナケレバ、外國トノ競争ハ出來ナイト云フコトハ勿論デアラウト思ヒマスカラ、ソ

云フト外國ノ生產費ト云フモノガ假ニ安ク賣ラナケレバナラヌ、何故カトレガ出來ルヤウニ工場ヲ出ル時ニ價格ノ鷄卵ノ輸入狀況ハドウデアッタカトシタガ、サウシマスト、大正十四年年度年三月マデ鳥卵ガ無稅デアッタ、鷄卵ガ無稅デアッタ云フ御説明ヲ伺ヒマ

トハ容易ナ事ト考ヘルノデアリマス、唯農村ノ副業トシテ殆ド他ノ製造工業家ガ侵スコトノ出來ナイ唯一ノ副業トシテノ養鷄業ガ、ドウ云フ風ニシテ普遍的ノ最モ廉價ナル養鷄飼料ヲ得ルコトガ出來ルカト云フコトガ、所謂農村副業トシテ困難ナ點デアリマス、此飼料ガ普遍的ナ農家カラ集マル鷄卵ハ殆ド生産費ガ同一、ナルト思フノデアリマス、私共モ亦力メテ農村ニ養鷄ヲ勸メテ居ル者デアリマスガ、何時デモ飼料ニ困難ヲ感ジテ居ルノデアリマス、其

ニアリマス、工場ヲ出ル價格ト云フコトヲ申シマスト云フト、普通ノ生產費ト申シテ居リマスノトハ、多少其間ニ嚴格ニ申シマスト云フト、區別ガアラウト思フ、或ル品物ヲ擁ヘマスノニ原料ガ幾ラ、加工費ガ幾ラ、ソレニ對シテ製造ノ利益ガ幾ラ、ソレヲ以テ生産費ト云フコトニ致シマスト云フト、工場ヲ出ル價格ト云フモノハ必シモ其價格トハ同ジデナカラウト思フ、市場ニ於キマテ相當ナル競争ヲ致シマス上ニ於テハ、或ル飯塚サンノ御話ノヤウニ販賣費ノ要ルコトモアリ廣告費ノ要ルコトモアリマセウ相當ナ費用トシテ色ニ必要ナ費用ガアラウト思フ、小賣ニ對シマスル儲ケトカト云フ風ナモノモ勿論ニナリマシタヤウニ、販賣費ト云フモノガソコニ見ラレナクテハナラヌト云フコトモ言ヒ得ルト考ヘルノデアリマス、即チ工場ヲ出ル價格トモノトハ所謂生產費——狹イ意味ノ生產費トハ必シモ一致シテ居ラヌト考ヘテ居リマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○長田委員 午前ノ續ヲモウ一度願ヒバ、外國品トノ競争ト云フモノハ對等ニ出來ナイノデアリマス、ソコデ若シ販賣費ガ陸揚カラ五圓掛ルト云フコトガ假ニ相當ナル經費ト致シマスレバ、サウスルト云フト内地ノ品物ヲ出シマスニシテモ、矢張其レ相當ナル五圓ト云フ價格ヲ販賣者ニ利用サセナケレバ、外國トノ競争ハ出來ナイト云フコトハ勿論デアラウト思ヒマスカラ、ソ

云フト外國ノ生產費ト云フモノガ假ニ安ク賣ラナケレバナラヌ、何故カトレガ出來ルヤウニ工場ヲ出ル時ニ價格ノ鷄卵ノ輸入狀況ハドウデアッタカトシタガ、サウシマスト、大正十四年年度年三月マデ鳥卵ガ無稅デアッタ、鷄卵ガ無稅デアッタ云フ御説明ヲ伺ヒマ

トハ容易ナ事ト考ヘルノデアリマス、唯農村ノ副業トシテ殆ド他ノ製造工業家ガ侵スコトノ出來ナイ唯一ノ副業トシテノ養鷄業ガ、ドウ云フ風ニシテ普遍的ノ最モ廉價ナル養鷄飼料ヲ得ルコトガ出來ルカト云フコトガ、所謂農村副業トシテ困難ナ點デアリマス、此飼料ガ普遍的ナ農家カラ集マル鷄卵ハ殆ド生産費ガ同一、ナルト思フノデアリマス、私共モ亦力メテ農村ニ養鷄ヲ勸メテ居ル者デアリマスガ、何時デモ飼料ニ困難ヲ感ジテ居ルノデアリマス、其

ニアリマス、工場ヲ出ル價格ト云フコトヲ申シマスト云フト、普通ノ生產費ト申シテ居リマスノトハ、多少其間ニ嚴格ニ申シマスト云フト、區別ガアラウト思フ、或ル品物ヲ擁ヘマスノニ原料ガ幾ラ、加工費ガ幾ラ、ソレニ對シテ製造ノ利益ガ幾ラ、ソレヲ以テ生産費ト云フコトニ致シマスト云フト、工場ヲ出ル價格ト云フモノハ必シモ其價格トハ同ジデナカラウト思フ、市場ニ於キマテ相當ナル競争ヲ致シマス上ニ於テハ、或ル飯塚サンノ御話ノヤウニ販賣費ノ要ルコトモアリ廣告費ノ要ルコトモアリマセウ相當ナ費用トシテ色ニ必要ナ費用ガアラウト思フ、小賣ニ對シマスル儲ケトカト云フ風ナモノモ勿論ニナリマシタヤウニ、販賣費ト云フモノガソコニ見ラレナクテハナラヌト云フコトモ言ヒ得ルト考ヘルノデアリマス、即チ工場ヲ出ル價格トモノトハ所謂生產費——狹イ意味ノ生產費トハ必シモ一致シテ居ラヌト考ヘテ居リマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○加藤委員長 宜シウゴザイマス

○長田委員 第五十九條ノ鳥卵ノ問題

○長田委員 年三月マデ鳥卵ガ無稅デアリマス、大正八年十一月カラ十三

年三月マデ鳥卵ガ無稅デアッタ、鷄卵ガ無稅デアッタ云フ御説明ヲ伺ヒマ

トハ容易ナ事ト考ヘルノデアリマス、唯農村ノ副業トシテ殆ド他ノ製造工業家ガ侵スコトノ出來ナイ唯一ノ副業トシテノ養鷄業ガ、ドウ云フ風ニシテ普遍的ノ最モ廉價ナル養鷄飼料ヲ得ルコトガ出來ルカト云フコトガ、所謂農村副業トシテ困難ナ點デアリマス、此飼料ガ普遍的ナ農家カラ集マル鷄卵ハ殆ド生産費ガ同一、ナルト思フノデアリマス、私共モ亦力メテ農村ニ養鷄ヲ勸メテ居ル者デアリマスガ、何時デモ飼料ニ困難ヲ感ジテ居ルノデアリマス、其

點ハ農林省ニ於カレマシテモ御研究ノ
一端ヲ御漏ラシ下サルコトガ出來ルダ
ラウト思ヒマス、此經濟飼料ガドウ云
フ程度ノ御研究ガアルカ、露骨ニ申セ
バ其縣附近ヨリ集ル所ノアノ蛙、アレ
ヲ飼料トシテ飼フテ行ク、非常ニ蛙ノ發
達ノ盛ナ所デアリマスレバ、アノ廉イ
飼料ノ下ニハ非常ニ滋養分ニ富ンダ鶏
卵ヲ產出スルコトガ出來ルノデアリマ
スガ、山奥ニ參リマスト左様ニ旨クハ
參ラナイト云フノデアリマス、此點ニ
對シテ所謂養鷄上最モ經濟的ナル點ト
シテノ經濟飼料ト云フモノノ研究ヲ御
發表下サルコトガ出來レバ、最モ仕合
セト思ヒマス、ソレカラ今一ツハ支那
卵、殊ニ多クノ場合ニ上海卵ガ引用サレ
マスガ、是ハ生活必需品デアルト云フ御
考ガアルノデハナイカト思フノデアリ
マス、此點ハ御示シニナリマシタ「輸入
卵消費狀況」ト云フモノノ中ニ明示サ
レテ居リマス通り、上海卵ハ其形狀大
ナルモノデアッテ、中ニハ一見内地產ト
大差ナキモノニシテ、内地產ト混同サ
レルモノガアル、近時天津物、青島物ニ
至リテハ茹玉子ノ如キ單ニ廉價ナルヲ
以テ需要サレルト云フ狀況デアルト、
此御示シニナツタヤウニ卵ノ消費ノ狀
況カラ見マシテモ、私ハ之ヲ以テ生活
ノ必需品トハ認メルコトガ出來ナイト、
思フノデアリマス、街頭ノ茹玉子ヲ今
日日本人ノ生活必需品ト解釋スルコト
ハ、私ハ不穩當デアルト考ヘル、ノミナ

ラズ御示シニナツテ居リマスヤウニ、實際上海卵ノ多クノ部分ガ消費サレルノハ菓子デアリマス、菓子モ私共ハ今日日本人ノ生活必需品トハ思ッテ居リマセヌ、最モ此上海卵ガ多ク使用サレルノハ「カステーラ」デハアリマセヌカ、其他「スボンデケーキ」等ニ類シタ菓子ガサウデアッテ、成程上流階級ノ子供ナドハ食べテ居リマスケレドモ、多クハ舌鼓ヲ鳴ラシテ上海卵ノ腐敗シタノヲ頂戴シテ居リマス、斯様ナ卵ヲ吾ミガ攝取スルコトハ衛生上不穩當デアル、斯様ナモノハ私共ハ輸入スルコトヲ罰謂毀レ卵ト稱スルモノヲ「ブリキ」ノ罐ニ入レテ參リマシテ、内地ニ到着シテ蓋ヲ開ケルト一種ノ臭氣ガ發シテ居ルト云フデハアリマセヌカ、是ガ巻焼ノ中ニ這入ッタリ、或ハ餌餉屋ノ玉子トジノ一部分ニ混ッテ居ル、サウシテソレニ舌鼓ヲ打テ居ルト云フ、驚クデハアリマセヌカ、斯様ナモノハ害物ノ輸入トシテ取締ル必要ガアルカモ知レヌ、ソレヲ如何ニモ生活必需品デアルカノ如ク待遇シテ、輸入ヲ盛ニスルト云フ方針ハ、私ハ國民衛生上カラ見テモ前後矛盾デハナイカト思フノデアリマス、況ヤソレガ農村ノ副業トシテノ内地ノ鷄卵ト代價ヲ市中ニ争フニ至ッテハ、洵ニ許スベカラザル次第アルト思ヒマス、各農村ニ於テ獎勵シテ居リマス所

ツテ居リマスノデ、最モ見易クテ他ニ
奪フコトノ出來ナイ副業ノ獎勵ニモ相
成ルノデアリマスカラシテ、切メテハ
從前通り六圓ニ据置ヲサルル云フコト
ガ、適當デハナカラウカト云フヤウナ
感想ガ必然ニ浮ンデ參ルノデアリマス
ガ、何ガ故ニ政府ハ六圓ノ据置ヲ四圓
五十錢ニマデ引下ゲテ、前來申上ダマ
スヤウナ不都合ナ外卵ノ輸入ヲ御獎勵
ニナルノデアリマスカ、此點ニ關スル
御説明ヲ伺ヅテ置キタイト思ヒマス
○小山政府委員 第一ノ御尋ハ農家ノ
副業トシテ養鶏業ニ對スル種々ノ施設
ニ付テドウ云フコトヲシテ居ルカト云
フ御尋ノヤウデアリマス、是ハ農林省
ノ千葉縣試驗場ニ於テ卵鳥、肉鳥若ク
ハ卵肉兩用ノ各種ノ各外國ノ鶏ヲ集メ
マシテ、サウシテ此試驗ヲ致シテ居ル
譯デアリマス、一例トシテ御引キニナ
リマシタ、愛知縣ノ鶏ノ如キモ矢張其
試驗鶏ノ一種デアリマシテ、俗ニ名古
屋「コーチン」ト申スノガソレデアリマ
ス、又其飼料ニ付テ所謂經濟的飼料ニ
付キマシテモ色ミナ方面カラ研究ヲ致
シテ居リマス、若シ御必要ガアリマス
レバ其方ノ技師カラ特ニ御説明申上ダ
ルヤウニ致シテモ宜シウゴザイマス
ガ、大體ハ今申上ダマスルヤウナ試驗
ヲシテ居ル譯デアリマス、而モ此生卵
ノ能力ヲ上ダルニ付キマシテハ、色ミ
ナ試驗ヲ致シテ居リマスガ、先日平均
百一個ト申上ダマシタ、其百一個ニ更

ニ數個ヲ加ヘレバ斯様——ナルト云フ
數字ノ基礎モ申上ゲタノデアリマス
ガ、近來生卵能率ヲ上ゲルニ付キマシ
テ電氣ヲ利用致シテ、サウシテ其能率
ヲ上ゲルト云フヤウナ方法モ研究シテ
居リマス、而モ其研究ノ結果ハ相當ナ
成績ヲ舉ゲテ居ルノデアリマス、要ス
ルニ愛知縣ニ於ケル養鷄業ノ盛ニナッ
テ參ルト云フコトモ、是ハ一面ニ於テ
ハ人工孵化等ノ技術モ進歩シ、一面ニ
於テハ卵カラ生レマシタ雛ノ雌雄ノ研
究ト云フヤウナモノモ、此頃ハ殆ド百
發百中スルト云フヤウナ研究モ出來テ
來、尙ホ牝鷄ト牡鷄トノ其關係、ソレカ
ラ飼育ニ對スル所要ノ面積一坪ニ付テ
何羽ト云フヤウナ研究等ヲ始終致シテ
居ルヤウデアリマスガ、期スル所ハ從來
區々デアリマシタ農家ノ副業トシテ取
扱ッテ居リマス所ノ卵ヲ、之ヲ集メマシ
テサウシテ消費地へ送リ出ス、其間ノ共
同販賣斡旋ト云フヤウナコトガ甚ダ區
區不統一デアリマシタモノガ、漸次農
林省當局ノ指導ニ依リマシテ其統一ガ
付テ参リ、更ニ是ハデス、丁度陶器ノ荷
造リト同様ニ關係デ隨分荷造ニ付テ
モソレゾレ非常ナ研究ヲ致シテ居ルヤ
ウデアリマシテ、卵ヲ縱ニ入レタ場合
ニドレダケノ損ガ出ル、横ニ入レタ場
合ニドレダケノ損ガ出ル、碎ケ卵
サウ云フヤウナ、其輸送ノ途中ニ於テ
全ク失ハレテシマヒマス所ノ損ヲ、成
ベク其率ヲ少クスルト云フヤウナ研究

モ、此市中ニ出マスル時ノ時價ニ關係ガアリマスヤウナ譯デアリマシテ、此事ニ付テハ十四年度豫算デ御協賛ヲ得マシタ農村振興費ノ中ニ、施設獎勵補助ヲ致ス所ノ費用ノ御協賛モ得テ居リマスノデ、ソレ等ノ趣旨デ農林省當局ハ折角此指導獎勵ヲ致シテ居リ、續イテ今年度ノ豫算ニモ亦御協賛ヲ得テ居ルヤウナ譯デアリマス、斯様ナ次第デアリマスカラ其養鶏業ヲドウ云フ風ニシテ行クカ、産卵ノ能率ヲドウ云フ風ニ舉ゲテ行クカ、或ハ其荷造ヲドウスルカト云フヤウナコトニ付テハ、ソレゾレ専門ノ當局カラ必要ガアレバ御説明ヲ申上ゲマスガ、大體ハ今申上ゲタヤウナ譯デアリマス、ソレカラ第二ノ御尋ハ生活必需品ヲ見ルニ付テノ御見解ガアッタヤウデアリマスガ、是ハ財政經濟調査會ニ於テモ曩ニ申上ゲマシタヤウニ、生活必需品原料品ト云フヤウナモノニ對シテハ出來ルダケ据置若クハ減稅無稅ニスルト云フ方針ニナッテ居ルノデ、此事ハ大正八年十一月二十八日カラ大正十三年三月三十一日迄六年間ニ瓦テ此輸入鳥卵ノ免稅ヲ致シテ居タルノデアリマス、即チ當時長田君等モ此事ニ付テハ矢張議會デ御協賛ニナツタト云フコトノ趣旨ガ、生活ニ直接致シタカト申セバ、此免稅ヲ致シテ參ノ關係ノアルモノデアルト云フ、此見

地カラ數年免稅ヲサレテ來テ居タノ
ノモノデアリマス、昨年ノ四月一日ヨ
リ初メテ此鳥卵ノ關稅ヲ復活致シタノ
デアル、其數年ニ瓦テ全ク免稅致シテ
居タ其免稅サレタ理由ハドウ云フ譯
デアルカト云フト、只今申上グマシタ
ヤウニ生活ニ關係ノアルモノデアルト
云フコトデ、丁度大正八年原内閣以來
ズット十三年ノ春迄免稅サレテ居タト
云フ譯デアリマス、然ラバ其間ニ於テ
ドウ云フヤウナ數字ガ現レテ居ルカト
云フコトガ、次ノ御尋ニ對シテ御答申
上ゲル有力ナルモノト思ヒマスガ、其
數字ハ大藏當局ノ方カラ正確ノモノヲ
申上ゲマス、私ハ數字ハ茲ニ其方ニ讓
ツテ申上ゲマセヌガ、此數字カラ見マ
シテモ數年間ニ瓦テ免稅サレヲ居タ
ナラバ、非常ニ内地ノ養鷄業ガ打擊ヲ
受ケナケレバナラヌニ拘ラズ、數字ニ
ハ相當ナモノガ現レテ參ッテ居リマス、
而モ其免稅ハ一時デハナイ、足掛ケ六
年間免稅シテ居ル、ソレデモ内地ノ養
鷄業ハ相當ノ成績ヲ舉ゲテ居ル、斯ウ
云フコトデアリマスルト、只今御質問
ニアリマシタ此稅率デ果シテ養鷄業ノ
將來如何ト云フコトノ御尋ニ對シテ
ハ、數年間免稅シテサヘモソレダケノ
數字ヲ舉ゲテ居ル以上ハ、此保護政策
ヲ執リマスレバ、相當ナ成績ヲ舉ゲ得
ル、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、要ハ
先刻飯塚君ノ酪農ノコトニ付テノ御尋
ニ對シテモ申上ゲマシタガ、農村ノ方

方ノ卵ヲ集メテ、是ガ共同販賣、斡旋、
荷造、市中ニ出テノ販賣方法等ノコト
ニ付テ相當ニ考慮致シマスレバ、私ハ
唯一斤僅ニ一圓乃至一圓五十錢ト云フ
關稅ニ依テ此業務ニ至大ナル消長アリ
トモ考ヘマセヌ、斯様ノ次第デアリマ
スカラ、私共ハ養鷄業ノ現狀カラ見テ、
此稅率ヲ以テ相當ノ助成ヲ爲シ、斯業
ノ發達ヲ爲シテ行クコトガ出來ルデア
ラウト考ヘテ居ル譯デアリマス、數字
ノコトハ大藏當局ヨリ大正八年カラ十
四年マデノ數字ヲ申上ゲルヤウニ致シ
マス

トハ全ク見解違ヒデ、實際全部ト云フ
モノガ飴ノ原料ダト申シテ居ルノデア
リマス、此邊ノ御調査ハドウナッテ居
マスカ、アノ位ノ御答辯デハ國民ガ満
足ヲシナイト思ヒマスカラ、今一應伺
ツテ置キタウゴザイマス

○矢部大藏技師 烏卵ノ大正十四年度
ニ於ケル輸入額ヲ申上ダマス、三千七
百九十九萬六千百斤、價ガ千二百五十
九萬二千百十圓デアリマス「タビオカ、
マニオカ」竝ニ「セイゴ」ノ用途ニ付キ
マシテ、昨日黒田主稅局長カラ説明致
シタノデコザイマスガ、ソレニ付キマ
シテ、只今黒田主稅局長ハ稅制整理ノ
方へ行カレテ居リマスノデ、私ガ代ツテ
御答ヲ致シマス、御承知ノ如ク現行法
ハ「タビオカ、マニオカ」ナルモノハ二
割ノ一圓五錢ト云フ稅率ニナツテ居リ
マス、「セイゴ」ト云フモノハ三割ノ輪
入稅ノミニナツテ居リマス、之ニ付キマ
シテ「セイゴ」ト「タビオカ、マニオカ」
ト權衡ヲ得ナイ、「セイゴ」ナルモノハ
レルノガ多イノデアツテ 權衡ヲ得ナイ
ト云フノガ多年當業者カラ憩ヘテ來タ
云フモノハ織物其他ノ工業用ニ供セラ
食用ニ供セラレル、併シ昨今ノ用途ト
問題デアリマシテ、現ニ請願書ノ如キ
モノモ出テ居リマス、ソレデ今回ノ改
正ニ當リマシテ、粉狀デアルトカ、粒狀
デアルトカ主ニ西洋料理ノ「ブッディン
グ」或ハ菓子等ニ使ハレルモノ、即チ乙
ニ使ハレルモノハ、從價三割ニ致シマ

シテ、粉狀ノ「セイゴ」ヲ「タビオカ、マニオカ」ト殆ド同様ノ取扱ヲスルコトニ致シマシタ、ソレデ此「セイゴ」ハ御承知ノ如ク椰子ノ幹カラ出來ル所ノ澱粉デアツテ、現ニ日本人ノ向フニ資本ヲ下シテヤッテ居ル者モアリマス、此方ニ持ツテ參リマシテ「アルコール」ノ原料ニスルトカ、或ハ織物ノ原料ニスル、或ハ蒲鉾ニ入レルト云フヤウナコトモ承知シテ居リマスケレドモ、ソレハ一部デアリマス、ソレノ限界ヲ附ケルコトハ出來ナイト思ヒマスカラシテ、大體カラ見マシテ、此改正案ノ如ク分類スルノガ適當デアルト認ヌマシタノデゴザイマス

○加藤委員長 長田サン宜シウゴザイマスカ

○長田委員 ドウモ私共御説明デ満足ガ出來ナイノデゴザイマスガ、此「タビオカ、マニオカ」ト云フモノガ工業用ニ使ハレテ「コーンスターチ」モ工業用ニ使ハレルナラバ、此税率モ同一ニサレルモノト思ヒマスガ、是ハ區別スル必要ガアリマスカ、其點ノ御説明ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○藤巻農林技師 昨日「コーンスター」ノ用途ノコトニ付キマシテ御尋ガゴザイマシタ、政府ガ茲ニ原案ト致シマシテ御協賛ヲ願ヒツツアルノニ付キマシテハ、相當ノ調査ヲ經テ出シタノデゴザイマスルガ、更ニ御要求ノ次第モアリマシタカラ、ソレハ本日別ノ者

ヲシテ調査セシメツツアルノデゴザイマス、尙ホ「タビオカ」、マニオカ」及「セイゴ」ノ粉狀ノモノガ工業ニ使ハレル、「コーンスターク」ト同ジヤウニ工業ニ使ハレニモ拘ラズ、稅ノ盛方ガ非常ニ「バランス」ヲ得テ居ラナイデハナイカト云フ御疑念ノヤウデアリマスガ、「タビオカ」、マニオカ」及「セイゴ」ノ澱粉ノ工業ニ使ハレマスルノト、「コーンスターク」ノ工業ニ使ハレマスルモノトハ、大體ニ於キマシテ同ジ澱粉デハゴザイマスルガ、又懸隔ヲ有^ツテ居ルバカリデナク「コーンスターク」ノ方ハ昨日此方カラ説明シテハ大シテ大キナモノデナイ、是ガ爲ニ其工業ニ及ボス影響タルヤ極メテ少イモノデハナカラウカト云フ考ヲ以チマシテ「タビオカ」、マニオカ」及「セイゴ」ノ粉狀ノモノト云フモノト境ヲ附ケタ譯デゴザイマス、成程只今御話ノ如ク、飴ノ原料ニモ「タビオカ」、マニオカ」及「セイゴ」ノ澱粉ハナルノデゴザイマスガ、元々此「タビオカ」、マニオカ」「セイゴ」ノ輸入ハ非常ニ少イノデノ位デアルカト云フコトハハッキリ致シマセヌガ、元々此表ニアリマス「六」ノ方ノゴザイマス、澱粉トシテ外國カラ入^ツテ來ルモノハ此表ニアリマス「六」ノ方ノ

之ニ屬スル外カ主モデアリマス、同ジク工場ニハ使ハレマスガ、「バビオカ、マニオカ」及「セーボ」ト云フモノハ品質カラ申シテ割合ニ低級ナモノニ使ハレ又「コーンスター」ノ方ハ上等ノ物ニ使ハレルヤウニ考ヘテ居リマス
○長田委員 「コーンスター」ノ問題ハ何所ニ使用セラレルト云フ問題ニ對シテ御調査ガ出来マシタラ、書類デ戴キタイ、ソレカラ私共ノ御尋スル趣旨ハ、所謂葛トカ片栗ト云フ農家ノ副業ナニツテ居ル物ガ、關稅引下ノ爲ニ脅カサレルト云フノガ私共ノ主タル觀念デゴザイマス、ソコデ此「バビオカ、マニオカ」及「セーボ」ト云フ物ガ工場用ニ使ハレ、食料ニ使ハレルノハ其他ノ乙ニ屬スルモノデ、從價二割ノ稅金デ、内地ノ葛モ片栗モ保護サレテ居ルト云フ御説明ト了解致シマシタ、所ガ本日當業者ガ來テ、ソレデハ満足ガ出來ヌ、「バビオカ、マニオカ」及「セーボ」モ餡ノ原料ヲ使ハレテ居ルカラ矢張食料ダースウ云テ參ッタ、サウスルト曩ノ御説明ガ矛盾スルヤウニ思ヒマスノデ再び御質問スル次第アリマス、其點ヲ御了解下ステ明白ニシテ下サレバ結構デアリマス
○藤巻農林技師 只今御尋ノ「バビオカ、マニオカ」及「セーボ」ノ輸入ト先程申上ゲマシタ如ク其金額ハ僅デアリマス、寧ロ輸入澱粉トシテハ「六」ノ方ニ質問スル次第アリマス、其點ヲ御了解下ステ明白ニシテ下サレバ結構デアリマス

シテ、現ニ大正十二年ニ「六」ノ「其ノ
擔、値段ニ於テ百六十二萬圓入ッテ居リ
マス、是ハ勿論澱粉ノミナラズ其他ノ
穀粉モ多少混ツテ居リマスガ、大部分ハ
澱粉デアリマス、主トシテ和蘭ノ生産
ニ係ル馬鈴薯、澱粉デアリマス、ソレニ
比スレバ「バビオカ、マニオカ」及「セー
ゴ」ノ輸入ハ僅少デアリマシテ、隨ツテ内
地ノ澱粉ニ影響スルモノハ主トシテ第
六ノ「其他」ニ屬スルモノノデアリマシ
テ、全タ影響ガ無イトハ云ヘマセヌガ、
「其他」ノ方ニ比ベレバ極メテ僅デアル
ト考ヘマシテ、主タル競争品タル「六」
ノ「其他」ノ關稅ヲ引上ゲタナラバ宣シ
トイ思ツタノデアリマス

度デハ「バビオカ、マニオカ」ト「セゴ」ヲ合セテ九十萬バカリニナリマス、ソレニ對シテ「六」ニ當ル方ガ八十萬圓ニナッテ居リマス、ソコデ前ノ九十餘萬圓ノ中ニハ粉狀モ粒狀モアルノデアリマシテ、「六」ノ「其ノ他」ノ方ノ澱粉ハ大部分粉狀ト思ヒマス、隨ツテ用途カラ考ヘテ直ニ此輸入數量ヲ以テ論ズルコトハ出來ナイカト云フ、感モゴザイマス、ソレカラ尙ホ「六」ノ「其ノ他」ノ中ニハ葛トカ片栗ガ入ツテ居ルノデアリマシテ、内地ノ有スル澱粉ノ競争ニ此「六」ノ方ガ主トシテナルト思ツテ居リマス

議論ニアリマシテ、既ニ黒田政府委員着ケズニ現行ノ儘、其儘出シテ置キマシタ
○太田委員　此鳥獸肉ノ中ノ牛肉ノ此税率ヲ從量稅ニ、肉類ノ總テヲ牛肉トカ、豚肉トカ、羊肉トカ、云フヤウナモノヲ從價ニナサラナイデ之ヲ從量ニナサッタノハドウ云フノカ、何カソコニ御考ガアルノデアリマスカ、大體ハ從價稅ガ最モ課稅トシテハ均衡ヲ得ルモノト私共ハ信ズルノデアリマスガ、課稅ノ徵稅方法トシテ從量ノ方ガ便利デアリ、又其品物ガ違ッテ居ツタリ、或ハ價額ニ非常ナ相違ガアツタ場合ニハ宜イト云フコトニナルガ、大體ニ於テ牛肉ノヤウナモノハ單一ナモノデアリマスカラ、之ヲ從量ニナサラナイデ、從價ニナサッタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、特ニ此肉類ヲ從量ニシタノハドウ云フ御考デアルカ、モウ一ツ其中ノ鶏肉ト云フモノヲ特ニ是ダケヲ從價ニナサッテ、而モソレヲ半額ニ御訂正ニナリマシテ、而引下ゲニナリマシタコトハ、是ハドウ云フ御趣旨ノ下ニ出來上ツタノデアリマスカ、ソレヲ伺ッテ置キマス

カラモ申上ゲテアルノニアリマスガ、重ネテ申シマスレバ、總テ取引ハ從價税ヨリ從量税ガ便利デアリマス、當業者モ從價税デアリマスルト税關ニ於ケル價格ガ幾ラニ鑑定サレルカ、之ニ依テ税ガ定マルノデアルガ、豫メ其價格ガ分ラナイ爲ニ取引上非常ニ不便ヲ感ズル、ソレガ爲ニ税關ハオ前ノ方デ持ツ方ガ宜イ、或ハ私ノ方デ持ツ方ガ宜イト云フヤウナ特別ノ約束ヲシ、取引業者モ成ベク從量税デアルト云フコトヲ希望致シテ居リマス、政府ニ於キマシテモ税關ノ役人ニハ此價格ニ通ジテ居ル者ヲ置クト云フコトハ困難デアリマス、目方ヲ計レバ税金ガ出ルト云フ風ニスルノガ大變便利デアルト致シテ居リマス、ソレガ爲ニ現在デハ成ベク從量税ニ改メルト云フコトノ方針ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス、御話ノ如ク從價税ニ致シマスレバ公平デ高イ物ハ高イ税ガ取レルト云フノデ、割合ニ公平デアリマスケレドモ、又一步誤ルト云フト非常ナコトニナル、弊害モ起リ易イカラ成ベク從量税ニシタイ考デアリマス、所デ御話ノ如ク鶏肉、羊肉、豚肉等ニ付テハ是ハ他ノ贅澤物ナドト異ナリマシテ、品質ガ割合ニ一定シテ居リマスカラ、一定量ニ對スル價格ト云フモノガ相場デ上リ下リハアリマスルガ、或ル年ニ於キマシテハ左程品質ニ依ル所ノ差等ト云フモノガナインデ

アリマシテ、ソレ故ニ是等ハ從量稅ニ改メタノデアリマス、ソレカラ鶏肉ニ付キマシテハ從來輸入ガ甚ダ少イノデアリマス、將來モドウカト思ヒマスガ、付キマシテハ從來輸入ガ甚ダ少イノデシマシタ、ソレデ一見致シマスト此丙ノ其他ノ三割ト云フノガ、一割ニ下ゲラレタ觀ガアリマスガ、三割ナルモノハ鶏肉ニ對スル稅率デハナイ、鶏肉ノ稅率ハナイカラ已ムヲ得ナイデ、輸入ガアレバ三割ヲ適用スルコトニナッテ居リマス、ソレデ今度ノ改正案ニ於キマシテモ、輸入ガアリマスレバ戊ノ一割ヲ適用スルト云フコトニナリマス、此一割ナルモノハ牛肉、羊肉等ノ稅率ニ比較シマシテ、相當權衡ヲ得タモノト考ヘテ居リマス

○太田委員 鶏肉ノ事ハ今魚具類ノ時ニ一緒ニ申上ゲマスガ、肉ノ罐詰類ガ矢張從價デ引下グラレテアリマスガ、是等ノ物ハ同ジ食料品デアリマシテキヲ異ニ致スト思ヒマスガ、何方カト申セバ之ヲ需要スル者ハ或一部ノ人ニ限テ居ッテ、寧ロ多數ニ關係ヲ持ッテ居メノ價格ガ非常ニ輸入稅ガ引下グラレタ結果、之ニ及ボシテ引下グラレタモノハ少イト思ヒマス、併ナガラ此牛ノト思ヒマスガ、一面ニ牛肉其他ノ肉ヲ入レテ、内地デ罐詰ヲ拵ヘル方ガ國内ノ產業ヲ發展スル上ニ於テ私ハ宜ク

ニ付テ海外ノ物輸入スルガ如キコトハ
スル必要ガナイト思ヒマスガ、此邊ニ
於テモ男子ガ漁業ニ從事スレバ女子ガ
農業ニ從事スルト云フコトニナツテ、農村ニ
村ガ非常ニ賑フコトデアリマス、サレ
バ是等ノモノハ農村振興若クハ漁業獎
勵ト云フ上ニ於テ、從前ノ如キ關稅ニ
御置キニナツテモ決シテ差支ナイト思
フノデアリマス、若シ之ヲ更ニ引下ゲ
テ需要者ニ安キ食料ヲ提供スルト云フ
方針デアツテ、漁業獎勵等ニ付テ關稅ヲ
引下ゲテモ益之ヲ振興セシメ得ル方法
ヲ他ニ御持チニナツテ、安價ナル品物ヲ
市場ニ入レテ、外國品ト競争セシメテ
價格ヲ引下ゲヤウト云フヤウナ御趣旨
デアリマスレバ、大ニ考慮致サナケレ
バナラヌ、又肉類ニ於テモ其通リデア
リマス、金高ニ於テハ八百萬圓内外ノ
輸入ガアリマスガ、我國ノ畜產ガ發達
シテ參リマスレバソレニ伴ツテ農村ヲ
賑ハスノデアリマス、サレバ關稅ヲ引
下ゲル代リニ之ニ代ルベキ他ノ方法ニ
依テ畜產ノ發展ヲ圖ルト云フ具體案ヲ
御持チニナツテ居ルコトト思ヒマスガ、
同様ト思ヒマスノデ、餘リ同ジ事ヲ時
此點ニ付テ御伺ヒ致シマス

○小山政府委員 段々御質疑ガアリマ
シタガ、是ハ佐々木君ノ御尋ノ際ニ一
應御答辯致シテ置キマシタコトト殆ド
間ノ無イノニ繰返スノハ甚ダ恐縮ト致
シマスカラ、ドウゾ午前申上ゲタ趣旨

ヲ速記録ニ依テ御諒承ヲ願ッタ方ガ便
ト思ヒマスガ、唯大要ヲ捉ヘテ申上ゲ
マス、水產ノ事ニ付テハ内地ニ於テ臨
海漁業或ハ遠洋漁業等ヲ獎勵ヲシテ居
ルノニ、何モ關稅ノ是等ノ事ヲシナク
テモ宜イデハナイカト云フ御話デアリ
マシタ、大體ハ先刻モ申上ゲマス通り、
我國ノ漁業方法ハ近時非常ナ進歩發達
致シマシテ遠ク遠洋漁業ヲ獎勵シテ居
ル、其結果デモアリマスケレドモ、當業
者モ種々研究ヲ致シテ居ル、例ヘバ「ト
ロール」ノ如キハ非常ナ進歩デアリマ
ス、又此生產費カラ參リマシテモ、相當
ニ低廉デアリマスカラ、外國人ガ我ガ
漁業ノ活躍ヲシテ居ル範圍内ニ於テハ
競争スルト云フコトハ堪エタノデアリ
マス、競争ニハ堪エラレナイ、今ノ所デ
ハ競爭者ハナイノデアリマス、而モ生
新ノ物ナドト云フモノハ、殆ド輸入ガ
ナイ、更ニ輸入ガナイ、鰯ノ油漬ト言ッ
テ見タ所デニ萬圓前後、其他ノ物モ二
十萬圓前後デ、唯相當ノ金額ト認メラ
レマスモノハ、先刻モ申上ゲマシタヤ
ウニ、鮭ノ淡鹽ノモノガ二百萬圓バカ
リアリマス、其他ノ物ニ付テハ目星イ
物ハアリマセヌ、ソレカラ鯨肉ノ事ヲ
御尋ニナツタ、鯨ハ是ハ農林省ノ方針
トシテ終始一貫致シテ居リマスノハ、
鯨族繁殖ノ上カラ考ヘマシテモ、捕鯨
船ニハ制限ガアリマス、其船隻ハ三十
隻ヲ限度トシテ居リマスガ、而モ捕鯨
ノ技術ノ進歩等カラ見マシテ、若シ其

一隻ナリ二隻ナリガ減ズレバ、其減ジタダケノ率ハ技術ノ進歩等ニ依テ進ンデ參リマスル率等ヲ考ヘマシテ、捕鯨船ハ減ジタモノハ減ジタ儘ノ方針デ行シテ居ル譯デアリマス、抹香鯨トカ、其他鯨ニハ色ミノ種類ガアルヤウデアリマス、大體捕鯨事業ニ付テハ、サウ云フ方針ヲ執ツテ居ルノデアリマス、往年捕鯨事業ガ盛ニ起リマシタ時分ニ其倒レノヤウナ形ニナリ、一方ニ於テハ濫獲ノ弊ニ陥リマシタ、是ハ水産業ノ上カラ見テ深ク考ヘナケレバ、ナラヌノデ、サウ云フ方針ヲ執ツテ居リマス、ソレカラ鯨肉ノ御話ガアリマシタガ、是ハ牛肉ト相對シテ段々其需要モ増シテ參ツテ居リマス、併ナガラ是ハ太田君モ御承知ノ通リ主トシテ關西、大阪ヲ中心トスル嗜好品デアリマシテ、關東ノ人ハ餘リ鯨肉ハ食ヒマセヌ、後ニ至ッテハドウカ知リマセヌガ、現在デハサウデアリマス、ソレカラ近頃諸威ノ捕鯨船ガ露領ノ方面ニ出漁致シテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ肉ノ目的デハアリマセヌ、總テ油ヲ目的トシテ居リマス、此事ニ付テハ我國ノ捕鯨業ノ將來カラ考ハテ農林當局ニ於テモ相當ニ考慮シナケレバナラヌ事ト今考ヘテ居リマス、左様ナ次第デアリマシテ、水産業ニノ御議論ガアリマスガ、一方水産業ニ對シテハ午前中ニ繰返シテ申上ゲマシタガ、一方ニ於テ農產物ニ對シテ種々致シテハモウ一段ノ研究ヲシテ見タ

イ、食糧政策ノ上カラ考ヘテモ我國ノ非常ナル輸出ノ數量ノ上カラ考ヘマシテモ、御互ニ研究シテ見タイ、サウンテ其聲ヲ大ニシテ尙ホ漁業ノ進歩發達ヲ圖リタイ、佐々木君ノ場合ニモ申上ゲマシタガ、近ク蟹工船ノ如キ、是ハ僅カ數年間ニ非常ナ發達ヲ致シ、露領堪察加方面ニ於ケル近年兩三年ノ發達ト云フモノハ驚クベキモノデアリマス、本年ハ數百萬圓ニ達シテ居リマス、尙ホ十五年度ニ於テハ一千萬圓近クニナルデアリマセウ、而モ是等ハ内地ノ消費ト云フモノハ僅ナモノデ、殆ド八割以上ハ海外ノ需要ニ應ズル譯デ、主トシテ亞米利加、英吉利等ニ於テ嗜好セラレルモノデアリマシテ、是等ハ全ク我國ノ水產業ノ一ツノ賜デアルト私共ハ考ヘテ居ル、斯様ナ次第デアリマスカラ當局ト致シマシテハ此稅率ヲ定メニスル時ニ當ツモ、只今申シマシタヤウナ方針デ深ク將來ノ我ガ漁業政策ト、食糧關係トヲ考ヘマシテ、之ヲ以テ妥當ノモノトシテ、御審議ヲ願ツテ居ルノデアリマス、大體御答致シマス、尙ホ細カイ事ハ午前中申上ゲテアリマスカラ、ドウゾ速記ヲ御覽ツ願フヤウニ願ヒマス

第五類第二號 關稅定率法中改正法律案(政府提出)委員會議錄 第九回

料品トシテ輸入スル罐詰類デアリマス
ガ、其罐詰ハ我國デ製造致シマスレバ
我國ニハ罐詰ノ材料ガナイノデアリマ
スカラ、不利ナ立場ニ立ッテ居ル、殊ニ
高イ鹽ヲ使ハナケレバナラヌ、殊ニ高
イ材料ヲ使ハナケレバナラヌ立場ニ
立ッテ居ル、其物ヲ内地ニ持ッテ來テ賣ル
場合ニ、態ニ海外ノモノト競争シテ賣
ラナケレバナラヌト云フコトハナイ
ト思ヒマス、故ニ内地ノ需要ヲ充ス上
ニ於テハ内地ノモノデ十分デアルトシ
タナラバ、相當ノ保護ヲ加ヘラレタ方
ガ宜シカラウト思フノデアリマス
○小山政府委員 罐詰ノ御尋ハ鰯ノ油
漬ノモノガ二萬圓前後、其他ガ二十萬
圓前後デアリマス
○太田委員 牛鳥肉ノ罐詰デアリマス
○小山政府委員 魚介類ノ罐詰ノ御尋
ト心得マシタカラ只今ノ事ヲ申上ゲタ
ノデアリマス
○矢部政府委員 只今ノ御尋ハ罐詰ノ
ヤウナモノハ内地ニ於テ製造ガアルモ
ノデアルカラ、是ハ保護シタ方ガ宜シ
イ、斯ウ云フ御尋カト思ヒマスガ……
○太田委員 特ニ引下ゲタ理由ハ先程
一般的ニ申上ゲタノデアリマシテ、繰
返ス譯ニナリマスガ、尙ホ一應申上ゲ
マス、一般ニ稅表ニ於テ三割五分、四割
ト云フ非常ナ高稅ニ當テ居リマス、是
等ノ罐詰ノ如キハ相當ニ保護スルノハ
勿論デアリマスケレドモ、大體カラ見

マシテ三割五分ト云フモノハ普通ノ贅澤品ヲ除キマシタ残リノ中デ、相當ノ高稅ノモノニ當ツテ居リマスノデ、斯様ナ食料品ニ高稅ヲ課スルト云フコトハ、穩デナイ、權衡上一割ヲ下ゲテ二割五分ニシマシタ、二割五分ト申シマスト一割下ゲタノデアリマスガ、是等ノ稅率ハ肉類ナドニ比較致シマスト、肉類ノ如キ一割乃至一割五分カラ成立ツテ居リマスノデ、ソレニ更ニ工程ヲ加ヘタノデアリマスカラ、一割ノ餘裕ヲ見テ二割五分ニ致シタノデ、相當ニ保護サレテ居ルモノト見テ居ルノデアリマス

ズニシマヒマシタガ、是ハ小山次官ニ
於キマシテハ、日本人ガ漁業ヲ爲ス上
ニ及ブモノデハナイ、故ニ關稅ヲ撤廢
シテモ決シテ、外國ノ漁業家ノ侵入ヲ
恐ルルモノデナイ、斯ウ云フヤウナコ
トヲ度ミ仰セラルルヤウデアリマス
ガ、ソコガ少シ御考ガ違ッテハ居リハシ
ナイカト思ヒマスノハ、私ガ先刻御尋
致シマシタノハ、輸入ト申シマスレバ
外國デアリマスガ、私ノ申上グマシタ
ノハ公海ニ於テ漁業ヲ爲ス、ソレハ外國
人ニ非ズシテ寧ロ日本人ガ多イ、唯
船藉ガ外國ノ船藉ニアル船ヲ持ッテ來
ル、而シテ之ニ乗込ンデ居ル所ノ船長、
技術家、從業員或ハ之ニ從事スル所ノ職
工總テガ日本人デアル、唯船藉ガ外國
ニ在ル、サウ云フ船ヲ持ッテ公海ニ行キ
マス際ニ日本ノ行政、或ハ日本ノ法律ヲ
以テ之ヲ制スルコトガ出來ナイ、サウ
ナツテ來ルト云フト結局ハ日本ノ水產
業ノ根本ヲ破壊サレル虞ハナイカ、何
トナレバ度ミ次官モ仰セラレル蟹工船
ノ如キ、最近非常ナ進歩デアリマス、之
ヲ此儘放任シテ置キマスト、餘リニ生
産額ガ増加シマシテ、遂ニハ市場ノ相
場ガ非常ニ下落シテ、海外ニ折角輸出
シマシテモ、現ニ此二、三年ノ所ヲ見マ
スト、漁業其物ハ非常ニ成功シテ居ル
ケレドモ、實際ニ於テ此金ヲ殘シタ者
ハ一人モナイ、漸ク昨十四年ニ於テ之
ニ鑑ミマシテ、當業者ガ或ハ政府ニ陳

情シ、又政府之ヲ諒トシテ其船ノ雙數ヲ減ジ、事實ニ於テ生産ノ制限ヲシテ居リマス、ソレカラ又一方外國ニ向ケテ販賣スル所ノ機關ヲ設ケテ、サウシテ一ツノ共同販賣ト云フヤウナ機關ヲ設居リマス、所ガ又「トロール」モサウデアリマス、隨分漁獲モ技術モ進歩シテ來テ居リマス、併ナガラ是モ先年非常ニ隻數ガ増加シマシタ爲ニ、到頭共漁レニナリマシテ、非常ナ困難ニ陥タ事實ガアリマス、是亦政府ニ於キマシテ調節ヲ圖ッテ、漸ク今日隻數ヲ減ジテ居ル、所ガソレ等ノ漁業船ガ活躍スル所ハ日本ノ領海デハナイ、公海デアル、卅界中ノ何處ノ人ガ來テ漁業ヲ爲シテモ宜イ、併ナガラ日本ニ於キマシテハチヤント行政上ノ處分ニ依リマシテ、日本國內ニ於テ制限シテ居リマスカラ、ガ出來ヌノデアリマス、ソコデ若シ此關稅ヲ著シク低減セラレマシテ、即チ三割ヲ一割ニ減ズルト云フコトニナリマスト、外國ニ藉ヲ置テ居ル、一口ニ言テ見マスト外國ノ名ヲ藉リテ日本人ガ外國ニ藉ガアル船ヲ持テ來テ、ソレニドンヽ乗込ンデヤリマスト云フト、折角制限シテ大變能ク行ッテ居ルノガ根本カラ破壊サレル虞ガアルト思フ、私ハ之ヲ憂ルノデアリマス、ソレハ先刻カラ申上ゲタノデアリマスガ、然ルニ理由トシテハ極メテ單純ナ、唯入

ツテ來ナイカラ之ヲ安クシテ宜イト云
フ、入ッテ來ナケレバ只デモ宜イ譯デア
リマスガ、一割ニ減ズルト云フコトハ
他ノ比較カラ出タカモ知レマセヌケレ
ドモ、折角水産ヲ保護ナサルト云フ御
方針カラ言ヒマスナラバ、現行法ノ儘
デ据置カラタ方ガ水産ノ發達、即チ政
府ノ折角御獎勵ニナツテ居ル御趣旨ト
符合スルノデアリマスガ、ソレニ矛盾
シタ政策ヲ御採リニナルコトハ甚ダド
ウモ其理由ヲ發見スルニ苦ムノデアリ
マスカラ、申上ゲテ置ク次第デアリマ
ス

○三宅水產課長 一寸私ガ代ツテ申上

ゲマス、只今此關稅ヲ低下シタ理由ハ
原料ノ安イモノヲ輸入スル必要ガナ
カラデアルト云フ風ナ御質問モアッタ
ウデアリマスガ、御承知ノ通リ材料ハ
或意味ニ於テ有リ餘ツテ居ルノデアリ
マシテ、鰯ニシロ、其他ニシロ、サウ云フ
意味ハナイノデアリマシテ、今矢部政
府委員カラ御答モアリマシタ通り、一
ツハ一般ノ比例ト云フ點カラ來タノデ
アリマス、ソレカラ今一ツハ領海外ニ
於テ外國船藉ヲ有スルモノノ活躍ト云
フ點ガゴザイマシタガ、是等モ實ハ實
力本位デアリマシテ、果シテ關稅ガ三
割ニ現行ハナツテ居ルガ爲ニ來ナイノ
デアルカ、日本ノ實力ニ於テ抑ヘテ居
ルノカト云フト、此點ハ寧ロ後者ニア
カラ出テ居ルノデアリマス、ソレデ其

沿岸漁業ノ點ニ付キマシテハ先程農林

次官カラ御述ベニナリマシタ通リ二百

萬圓、平均百四、五十萬圓、十三年度ハ

多イノデアリマスガ、平均百四、五十萬

圓ノ輸入ガアルノデアリマスガ、是モ

時期ノ關係ノミナラズ、農林省ノ冷藏

ノ獎勵ト相俟チマシテ、品質ノ向上ヲ

圖リ得ルヤウニ努メテ居ルノデアリマ
ス、尤モ此沿岸漁業ニ付キマシテハ露

領漁業トノ關係ニ於キマシテ相當考慮

スベキモノデアラウト思ハレマスガ、

○岡田委員 私ハ成ベク簡單ニ二三質

問ヲ致シマス、第一ニ四十ノ砂糖デア

リマスガ、其一ノ和蘭標本色相第十一

號未滿ノモノニ相當スル、是ハ下等ニ

ナラウカト思ヒマスガ、ソレニ相當ス

ルモノガ今日臺灣ニ大分アリマスガド

ウデスカ、チヨット伺ヒマス

○小山政府委員 多クアルカナイカト

云フコトデアリマスカ

○岡田委員 サウデス

○小山政府委員 少アリマス

○岡田委員 大シテアリマセヌカ、少

シデアリマスカ

○岡田委員 サウデス

○小山政府委員 僅デアリマス

○岡田委員 是ハ私ノ御伺シマス精神

シデアリマスカ

○小山政府委員 四十ノ砂糖ノコトデ

アリマスガ、大體ノコトヲ私ハ申上げ

テ更ニ當局カラ補ヒヲ致スコトニ致シ

マス、此表デモ御覽ノ通リ、和蘭標本色

相第十一號未滿、和蘭標本色相第二十

一號未滿、砂糖ノ色相ノ關係カラ非常

ニ其種類ガ分レテ居リマス、而シテ只

今御尋ノ沖繩縣ノ黑糖ノコトニ付テハ

コトハ消費稅ノアリマシテ、一應御尤ト

承ル點モ多イノデアリマス、此砂糖ノ

種々御議論モアリマシテ、シテ考慮ヲ致シマスル場合ニ、適當ナ

シテ考慮ヲ致シマスル場合ニ、適當ナ

シテ考慮ヲ致シマスル場合ニ、適當ナ</p

マス、而シテ尙ホ只今ノ沖繩縣ノ產業上ノ關係カラ黒糖ヲ御擧ゲニナリマシタガ、沖繩縣ニ於キマスル所ノ此産業ノ保護助長ニ關シマシテハ、特ニ意ヲ用ヒマシテ、豫算上御認メノ通り、十五年度ニ於テハ將來相當ナル之ニ助成ノ途ヲ立テテ居ルヤウナ譯デアリマス、單ニ砂糖ニ限リマセヌ、其他各般ノ施設ヲ致スコトニナツテ居リマス、大體御問ニ對シテハ此稅案御審議ノ場合ニハ右ダケノコトヲ大要申上ゲテ置キマス、併シソレカラ以上進ンデ砂糖ノ色相ニ對シテノ御尋ネ、若クハ砂糖ノ助長ニ對シテノ御尋デアリマスレバ、當局ヨリ御答申上ゲルコトニ致シマス。

○岡田委員 是ハ一ダケノコトニ付テ御伺シタノデ、モウソレデ宜シウゴサイマス、御精神ハ分リマシタ、又別ノ考ヲ以テ申上ゲルコトニ致シマス、次ニ五十三ノ「バタ」デアリマスガ、是ハ先刻カラモボツボツ御尋ガアリマシタガ、一寸伺ヒタイノハ、是ダケハ舶來品ヨリ品質モ優良ナモノガ出來ルシ、值段モ廉イシ、サウシテ必要量ヲ供給シ得ルヤウニナツテ居ルノニ可ナリ輸入ガアル、要スルニ是ハ外國ノ崇拜病ニ罹ツテ居ル患者ガ、食フダケノモノラシレ等ノ人ハ知識階級ノ人デモアルシ、ドチカト言ヘバ資產階級ノ人デアリマセウカラ、禁止稅ト言ッテハ悪イカモ知レマセヌケレドモ、奢侈稅ト云フ

位ニシテ、斯ウ云フ利益カラ云ヒマシテモ、何カラ言ッテモ輸入ヲ保護シテ居ルヤウナモノハウント上げテ、サウシテ内地ノ生産ヲ保護シテモ宜カラウト

テ内地ノ生産ヲ保護シテモ宜カラウトアリマセウカ、其點ヲ御伺致シマス

○矢部大藏技師 只今岡田サンノ御問ニ對シマシテ御答致シマス、「バタ」ニ付キマシテハ先程大分問題ニナリマシタ、ソレデ明ナルコトト考ヘテ居リマスノデ、此販賣ノ方法ヲ改善スル上

ニ對シマシテ御答致シマス、「バタ」ニ付キマシテモ、自然是等ニ氣附イテ居リマスノデ、此販賣ノ方法ヲ改善スル上

ニ於キマシテ、注意ヲ加ヘマシタナラバ、更ニ關稅ノ引上ヲ待タズシテ、相當

ノ酪農ハ相當ニ發達ヲ致シマシテ產額モ多クナリ、品質モ外國品ニ少シモ劣ラヌ、却テ優ル位ニナツテ居ル、然ル此ニ消費者ノ觀念ガ外國品ニ重キヲ置キ、

外國品ヲ尊ブト云フ所カラシテ賣行ガ多クナルト云フコトニナツテ居ル、事業其モノカラ見マスレバ相當ニ困難ノヤウニ見受ケラレマスガ、兎ニ角現行稅ト、六箇年デ出來ルヤウナ計畫ニナツテ

○岡田委員 次ニ五十九ノ二ノ鳥卵デアリマス、鳥卵ノ自給計畫ヲ見マスルト、六箇年デ出來ルヤウナ計畫ニナツテ

ノ下ニ發達致シテ來マシタガ、一方ニハ是ガ、非常ナル榮養品ニナツテ居リマシテ、斯様ナ物ノ需要ト云フモノヲ進メルト云フコトハ、衛生上非常ニ必要

ハ、政府ノ御考ニ依ルト、從來ノ養鷄ハデアリマシテ、贊成スルノデアルガ、茲

作ツテ御繼續ニナルノハ洵ニ宜イコト

ハイ、然ラバ其免稅サレタ時ノ養鷄業

ノ消長ハドウデアツカト云フト、大正

八年カラ十三年マデノ調査ノ數字ヲ見

タニモ拘ラズ、相當ノ數ヲ以テ增加シテ居ル、サウシテ見マスト、單ニ關稅ノ

マスト、内地ノ養鷄業ハ免稅サレテアッ

タニモ拘ラズ、相當ノ數ヲ以テ增加シテ居ル、サウシテ見マスト、單ニ關稅ノ

マ

共同販賣、斡旋ノ方法、是等ノ點カラ考
ヘテ見マスルト、消費地ニ於キマシテ、
實際小賣ニ依テ、銘々手ニスル鷄卵ノ
價ト農家ガ仲買等ノ手ニ渡シマスル價
格トヲ比較シテ見マスルト、世間ニ大
分開キガアリマス、其開キノアルノハ
ドウ云フ譯カト云フト、販賣方法ガ宜
シクナイ、其間ノ仲買或ハ買集メテ歩
ク者ノ間ニ相當ナル利益ガアル、養鷄
業ノ將來ト致シマシテ其點ノ施設ヲシ
テ、之ヲ助長スルナラバ、ソレガ接近シ
テ來ル、サウスレバ、消費者ノ側カラ云
ヘバ、今ヨリモ安イモノガ、手ニ這入ル
コトニナル、生産者ノ方ノ側カラ云ヘ
バ、多少其價額ガ上ッテモ、歸スル所ハ
中間ニ於テ消エルモノガ兩者ノ利得ニ
ナルノデアリマスカラ、此點ハ最モ注
意シテ、十四年度ニ於テモ十五年度ニ
於テモ、其施設ヲ致サウト云フノデ豫
算ノ協賛ヲ求メテ居ルト云フ譯デアリ
マス、何分六年間ニ亘テノ免稅デアル、
ソレガ漸ク大正十三年四月一日カラ復
活シタモノデアル、而モ生産數量ニ於
テハ、數字デ御覽ノ通リソンナニ大ナ
ル消長ハ此間ニナイノデアリマス、此
點カラ考ヘマスレバ此關稅率ヲ以テシ
テ、一面ニ於テ養鷄業ノ生産保護ヲ致
シ、而シテ之ニ對シテ只今申ス施設ヲ
致シマスレバ、相當需給計畫ノ將來ノ
目的ヲ達スルコトニナリハシナイカ、此
但シ是ハ農林當局トシテハ一ツノ理想
案デアリマスカラ、此理想ニ達セシム

ルコトニ付テハ、農林當局トシテハ指
導助長ノ方法ハ出來ルダケヤリマス
ガ、矢張養鷄業者方面ニ於テモ其意ヲ
體セラレ、互ニ協力シテ其實ヲ舉ゲル
バ、ソレハ仰セノ通リニナルカモ知レ
ト存ジマス、ドウゾ左様御諒承ヲ願ヒ
マス

○岡田委員 同ジ數字ニ依テモ、私共
ノ考ノ違フ所ヲ一應申上ゲマス、私共
モ免稅ノアッタコトハ能ク心得テ居リ
マスガ、其免稅ノアッタ間ニ、斯ウナッタ
ト云フ免稅ニ對スル判断ガ違ヒマス、
成程次官ノ仰セニナリマシタヤウニ、
其間ハ數字ニ於テハ増シテ居リマス、
併シ其増シテ居ル歩合ハ少イ、所ガ其
間ニ於ケル消費ノ増加ハ非常ナモノ
デ、非常ニ輸入増加ノ比率ガ違フノデ
アリマス、ソレカラ今一ツハ價額ノ騰
貴デアリマスガ、是ガズト上ッテ居リ
マス、ソレデアリマスカラ成程輸入稅
ガ免除サレテモ、一面ニ於テ非常ナ勢
ソレガ漸ク大正十三年四月一日カラ復
活シタモノデアル、而モ生産數量ニ於
テハ、數字デ御覽ノ通リソンナニ大ナ
ル消長ハ此間ニナイノデアリマス、此
點カラ考ヘマスレバ此關稅率ヲ以テシ
テ、一面ニ於テ養鷄業ノ生産保護ヲ致
シ、而シテ之ニ對シテ只今申ス施設ヲ
致シマスレバ、相當需給計畫ノ將來ノ
目的ヲ達スルコトニナリハシナイカ、此
但シ是ハ農林當局トシテハ一ツノ理想
案デアリマスカラ、此理想ニ達セシム

ルコトニ付テハ、農林當局トシテハ指
導助長ノ方法ハ出來ルダケヤリマス
ガ、矢張養鷄業者方面ニ於テモ其意ヲ
體セラレ、互ニ協力シテ其實ヲ舉ゲル
バ、ソレハ仰セノ通リニナルカモ知レ
ト存ジマス、ドウゾ左様御諒承ヲ願ヒ
マス

○岡田委員 同ジ數字ニ依テモ、私共
ノ考ノ違フ所ヲ一應申上ゲマス、私共
モ免稅ノアッタコトハ能ク心得テ居リ
マスガ、其免稅ノアッタ間ニ、斯ウナッタ
ト云フ免稅ニ對スル判断ガ違ヒマス、
成程次官ノ仰セニナリマシタヤウニ、
其間ハ數字ニ於テハ増シテ居リマス、
併シ其増シテ居ル歩合ハ少イ、所ガ其
間ニ於ケル消費ノ増加ハ非常ナモノ
デ、非常ニ輸入増加ノ比率ガ違フノデ
アリマス、ソレカラ今一ツハ價額ノ騰
貴デアリマスガ、是ガズト上ッテ居リ
マス、ソレデアリマスカラ成程輸入稅
ガ免除サレテモ、一面ニ於テ非常ナ勢
ソレガ漸ク大正十三年四月一日カラ復
活シタモノデアル、而モ生産數量ニ於
テハ、數字デ御覽ノ通リソンナニ大ナ
ル消長ハ此間ニナイノデアリマス、此
點カラ考ヘマスレバ此關稅率ヲ以テシ
テ、一面ニ於テ養鷄業ノ生産保護ヲ致
シ、而シテ之ニ對シテ只今申ス施設ヲ
致シマスレバ、相當需給計畫ノ將來ノ
目的ヲ達スルコトニナリハシナイカ、此
但シ是ハ農林當局トシテハ一ツノ理想
案デアリマスカラ、此理想ニ達セシム

ルコトニ付テハ、農林當局トシテハ指
導助長ノ方法ハ出來ルダケヤリマス
ガ、矢張養鷄業者方面ニ於テモ其意ヲ
體セラレ、互ニ協力シテ其實ヲ舉ゲル
バ、ソレハ仰セノ通リニナルカモ知レ
ト存ジマス、ドウゾ左様御諒承ヲ願ヒ
マス

○岡田委員 同ジ數字ニ依テモ、私共
ノ考ノ違フ所ヲ一應申上ゲマス、私共
モ免稅ノアッタコトハ能ク心得テ居リ
マスガ、其免稅ノアッタ間ニ、斯ウナッタ
ト云フ免稅ニ對スル判断ガ違ヒマス、
成程次官ノ仰セニナリマシタヤウニ、
其間ハ數字ニ於テハ増シテ居リマス、
併シ其増シテ居ル歩合ハ少イ、所ガ其
間ニ於ケル消費ノ増加ハ非常ナモノ
デ、非常ニ輸入増加ノ比率ガ違フノデ
アリマス、ソレカラ今一ツハ價額ノ騰
貴デアリマスガ、是ガズト上ッテ居リ
マス、ソレデアリマスカラ成程輸入稅
ガ免除サレテモ、一面ニ於テ非常ナ勢
ソレガ漸ク大正十三年四月一日カラ復
活シタモノデアル、而モ生産數量ニ於
テハ、數字デ御覽ノ通リソンナニ大ナ
ル消長ハ此間ニナイノデアリマス、此
點カラ考ヘマスレバ此關稅率ヲ以テシ
テ、一面ニ於テ養鷄業ノ生産保護ヲ致
シ、而シテ之ニ對シテ只今申ス施設ヲ
致シマスレバ、相當需給計畫ノ將來ノ
目的ヲ達スルコトニナリハシナイカ、此
但シ是ハ農林當局トシテハ一ツノ理想
案デアリマスカラ、此理想ニ達セシム

十八個ヨリ減ルモノデハナイ、増スモ
ノデアル、斯ウ考ヘテ居リマスカラ、隨
テ養鷄業ニ對シテノ當局ノ持ツテ居ル
方針ニ大ナル不都合ハナイト斯ウ考ヘ
テ居リマス

○岡田委員 所ガ此御計畫ノ通リニ、
全部自給ヲサセヤウト云フ考ハ、サウ
云フ計畫デ行ケバソレハ、出來ナイン
デアリマス、若モ何カ獎勵ヲ加ヘテ、ソ
レヲ需要增加ト伴ハシタ比率デ以テ進
ンデ行ケバ、サウ云フコトニモナリマ
スガ、實際ニ於テハ減リハシナイカ、一
方ガ增スニ從ツテ其比率ガ必ズ増スト
云フコトハナイ、需要ヲ同一ニ見タナ
ラバ内地ノ物ハ減ジテ居ルト言ヒ得
ル、唯ダ數字ガチットバカリ増シテ居ル
ガ爲メニ、養鷄業ガ其間ニ直接影響ヲ
受ケタ如クニハ見ラレナイヤウニ思ハ
レル、ケレドモ他ノ條件ヲ同ジヤウニ
シテ、其上デ見レバ輸入ノ方ガ増シテ
居レバ、内地ノ生産ハ減少スト云フ
風ニ見ラレルノデアリマス、ソレデ若
シ斯ウ云ウ自給自足ヲヤレバ、アノ時
代ノ狀態ヲ基礎トシテ、更ニ其後ニ復
活シテ、又一年シテ更ニ幾ラカ稅ヲ減
ズルト云フコトニナル、又殊ニ次官ノ御述ニ
ウシテモ私ハ自給計畫ト云フモノヲ裏
切ツタコトニナル、又殊ニ次官ノ御述ニ
コトデ、ソレヲスレバ無論是ハ出來
ス、出來ヌコトハナイト思ヒマスガ、私
ガ毎度申シマス通り、ソレハソレデア

ル他ノ獎勵法ハ獎勵法デ、又別ニ考ニマセヌト、此根本ノ輸入品競争品ニ對スル輸入税ヲ論ズル場合ノ直接ノ對照トシテハ、事實上ドウモ面白クナイト云フコトガ私共ノ見解デアリマス、斯ウ云フ點カラ見テ正當ナ理窟ガ含マレナケレバ、御計畫通リニハ行キマスマイ、輸入税ヲ見テモ大正十四年度、三十年度ヨリ少シ減^フテ居リマスカラ、是ハ場合ニ依テハ需要ガ前ノ如キ率ヲ以テ増シテ行カナイ狀態ヲ示シ始メタノデハナイカト云フ風ニモ想像サレマス、是ハ一年ノ數字デアリマスカラ何タヤウニ此御計畫デハ免稅ヲ以テヤッテモ言ヘマセヌガ、ドウシテモサウ云フコトヲ彼此レ考ヘマスト、今申上ゲシナイカト云フコトヲ憂フルノデアリ計畫モ遂ニ効ヲ奏シナイ結果ニナリハシナイカト云フコトヲ憂フルノデアリマス、併シ是ハ何故カト申シマスト、矢張結局ハ觀察ノ達ヒニナリマスカラ、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○矢部政府委員 只今ノ御質問ニ御答
シマスガ、御手許ニ差上ゲテアリマス
所ノ大正十三年特別輸入額表ヲ御覽ヲ
願ヒタイノデアリマス、之ニ依リマス
ト露領亞細亞カラ輸入サレマスル額ハ
掲ゲテナインデアリマス、大概此處ニ
上ゲマシタモノハ輸入額ガ多イモノヲ
シタノデアリマシテ、最低ノ所デ五百
八十八圓マデ掲ゲテアルノデアリマス
カラ、假ニ輸入ガアリマシタモノトス
レバ、五百圓以下ト思ヒマスルノデ、大
シテ恐ルベキモノチャナイト考ヘテ居リ
マス、尙ホ聞ク所ニ依レバ、西伯比利ノ
「バター」ヲ販賣スル計畫ガアルサウデ
アリマスガ、左程恐ルベキモノヂヤナ
イト考ヘテ居リマス——只今六千圓ノ
輸入ガアルコトガ分リマシタカラ訂正
致シマス

○山内委員 ソレデハ今ノ「バターノコトハ後廻シニ致シマシテ、私ハ鳥卵ノコトニ付テ少シク御伺シタイ、今岡田君カラ詳細ニ御問ニナリマシタカラ略分リマシガ、我國ニ於テ鳥卵ノ需要ハ年ト共ニ増シマシテ、大正十二年マデハ輸入額ガ千七百萬圓以上ニナッテ居ル、然ルニ十三年ニ初メテ輸入稅ヲ賦課サレルヤウニナリマシテ、千五百萬圓ニナッテ居ル、ソレカラ十四年ニハ之ガ千二百萬圓ニナッタ、斯様ニナッテ居ル、關稅ノ關係ニ於テ輸入ヲ防遏スルト云フコトハ大部分影響ヲシテ居ルヤウニ見受ケラレマス、之ヲ假ニ百斤千三百個ト致シマシテ、從來ノ稅金ハドレダケデアルカト云フト、六圓デアルカラ一個四厘六毛ニナリマス、ソレガ此度引下ニナリマスト三厘四毛ニナリマス、斯ウナッテ來マスト、其間ニ一厘二毛ダケ稅金ガ下ルコトニナル、四厘六毛ノ稅金ガ誤セラレテ、ソレガ爲ニ輸入ニ於テ殆ド五百萬圓バカリ違ッテ來タ、ソニヨ此度又稅金ガ下ツテ、僅ニ一厘二毛デゴザイマスガ、所謂政府ノ金科玉條トシテ居ラレル、消費者並ニ生産者ノ双方ノ調和ヲ圖ルト云フヤウナ意味ニ於テ、此程度ナラバ相當養雞事業ノ獎勵ガ出來ルダラウト云フ御觀察ノ下ニ稅額ヲ下ゲタノデアリマセウガ、全體ニ於テ私ハ此農產物ニ對シマ

シテハ、生産業者ガ多數アル如クニ、矢張之ガ消費者モ多數アル、サレバ此兩者ノ調和云々ト云フコトカラ、假ニ一厘二毛ヅツ安クシテモ、其爲ニ生産者脅威ヲ受ケルト云フコトモ、一寸申シ難イ事柄デアッテ、又消費者ガ之ガ爲ニ所謂調和ノ名ノ下ニ、農村ガ不利ノ立場ニ立ツト云フヤウナコトハ、モウ少シ御考慮アッテ然ルベキモノナリト思フ、物價ヲ引上ゲルト需要者ヲ困ラセルト云フ政府ノ御説明モ御尤デアリマスケレドモ、一箇一厘二毛ノ値上ノ爲ニ、生産業者ガ非常ナ脅威ヲ受ケテ、其後ノ生産ガ減ルト云フコトモ申シ悪ノデアリマスガ、成ベク生産費ノ價ガ向上セヌト云フノガ生産業ヲ振興サセル上ニ於テ唯一ノ策デアル、一寸私ノ方ノ縣邊リデハ、近來養蠶ガ利益ガアル、利益ガアルカラ縣ハ近時是ダケノ桑ヲ植エサセル、サウシテ何年計畫ト云フヤウナコトデ獎勵セラレマスルガ、一朝生絲ガ下ルト云フコトニナレバ、中々其獎勵ハ思ハシクナラヌ、併ナガラ多少デモ利益ガアルト云フコトニナレバ、其結果ハ計畫以上ニ進ンデ來ルノデアル、サレバ折角政府ガ自給自足ヲ圖ラレル上ニ於テ、六年計畫ニ依テソレヲ完全ニスルト云フ御方針デアルナラバ、從來ノ鷄卵ノ關稅位ナモノ

ハ、其儘御捨置キニナッテモ、何等消費者ニ對シテ差支ナイト思フガ、政府ノ御所見ハ如何デアリマスルカ、以上此事ヲ伺ヒタイ

○小山政府委員 只今山内君カラ御尋ノ關稅ヲ引下グル爲ニ、一厘一毛バカリノ差ガアルト云フコトハ、當局モ存ジテ居リマスノデ、矢張サウ云フ差ガアル、但シ先刻來屢申上ゲマシタ此鶏卵ノ價格ガ生産者ト小賣ノ間ニ大分ノ開キガアリマス、此開キヲ成ベク接近サセテ參リマスレバ、生産者モ宜シ、消費者モ宜シ、斯ウナルノデアリマス、試ミニ後ニ又同ジ御質問ガアラウト豫想致シマスカラ、此數字デ申上ゲテ見マセウ、大正四年——後ニ最近ノヲ申上ゲマス、先づ大正四年ノ生産者ノ販賣價格ハ百匁目ニ付テ十三錢七厘デアリマス、而シテ東京、大阪ノ小賣價格ヲ平均致シマシタモノガ、二十一錢二厘デアリマス、サウ致シマスト此開キガ七百匁目ニ付テ三十六錢一厘デアリマス、之ニ對シテ東京、大阪ノ小賣價格ノ平均ハ四十七錢デアリマス、其間ニ開百匁目ニ付テ十錢カラノ開キガアルノデアリマス、是ハ何ガ故デアルカト云ヘバ、先刻來屢申上ゲマスヤウニ、此販

賣、斡旋等ニ付テノ其施設ガマダ徹底致ト云フト、唯中間ノ卵ヲ買集メテ歩ク者ガ儲ケテ居ル、沟ニ是ハ一舉兩損、兩方トモ損ヲシテ居ル、デアリマスカラ斯ウ云フヤウナコトデハ、單ニ鶏卵ニ限リマセヌ、我國ノ生產消費ノ間ニハサウ云フヤウナ類ガ多々アラウト思ヒマス、此事ハ御互ニ協力シテ生産者ト消費者トノ間ヲ接近セシメルヤウニシテ、御互ニ其間ニ無益ナ消エテ行クモノニ對シマシテ按排致シマスルナラバ、生産者モ宜シ消費者モ宜イト考ヘテ居ル譯デアリマス、是ガ私共ガ常ニ心シテ此指導助成ヲ致サナケレハナラヌト心得テ居ル所ノ對策ノ一一ナッテ居ルノデアリマス、而シテ只今段々御話ノアリマシタ此數量ノコトデアリマスガ、成程海外カラ參リマス輸入卵ノ數字モ出テ居リマセウ、併シ先刻來申上ゲルヤウニ、内地ニ於ケル生產ノ鶏卵ノ數モ相當ニ殖エテ參ッテ居ルノデアリマスカラ、成程六圓ト四圓五十錢ノ間デハ一厘強ノ其處ニ差ガアリマセウ、併シ過日來申上ゲマスルヤウニ、矢張是ハ國民生活ニ關係アルモノデアリマス、殊更ニ引

モニ付テ、十錢以上ノ開キガアルトシテ農林當局トシテハ、十四度ニ於テモ十五年度ニ於テモ、斯様ナ缺陷ヲ補シテ以テ生產消費御互ニ其間ノ利益ヲ得ルヤウニ致シタイ、斯ウ努力シテ居ル譯デアリマス

○加藤委員長 山内君 マダアリマスカ

○山内委員 今ノ御説明デ能ク分リマシタ、此農村ニ於ケル販賣方法ノ不備ナル點ハ御尤デアリマス、私モ同一ノ感想ヲ持ッテ居ル、併シ是ハ養鶏業ニ致シマシテモ、販賣斡旋組合デモ拵ヘマスト、一緒ニ集メテ箱詰ナドヲ致シマスケレドモ、農家ノ副業ト云フモノハ五十羽以上デモ置イテ居ル所ハ別物デゴザイマスケレドモ、十羽ヤ二十羽置之ヲ普及スルト云フコトニ付テ、私ハ關稅ヲ以テ別段ニ之ヲ援護ヲシテ貰フテ置キタイト思ヒマスルノハ、副業獎勵ノコトニ付キマシテハ、豫テ其經濟ノ御協賛ヲ得テ、農林省ト致シテハ出來得ルダケノ努力ヲ致シテ居リマスガ、昨年ノ秋上野ニ副業展覽會ヲ開催致シマシタ、農林當局ニ於テモ只今山内君ノ御述ニナリマスルヤウナ御趣旨ニ對シテモ、之ニ副ヒタイト考ヘマシテ、副業展覽會ハ相當ナ規模ヲ以テ開催致シマシタ、沟ニ畏イコトデアリマスケレドモ、攝政殿下ニ於カセラレマシテモ亦各宮ニ於カセラレマシテモ、既ニ御承知ノ如ク副業展覽會ニ行啓ガ

下ゲテ、關稅デモ引下グテアルヤウニ、組合等ニ於テモ、政府ノ意ノ在ル所ヲシテ居リマセヌノデ、生產者モ詰ラヌコトデアルシ、消費者モ無益ナモノヲ拂ッテ居ル、サウシテ其儲カル者ハ誰カト云フト、唯中間ノ卵ヲ買集メテ歩ク者ガ儲ケテ居ル、沟ニ是ハ一舉兩損、兩方トモ損ヲシテ居ル、デアリマスカラ斯ウ云フヤウナコトデハ、單ニ鶏卵ニ限リマセヌ、我國ノ生產消費ノ間ニハサウ云フヤウナ類ガ多々アラウト思ヒマス、此事ハ御互ニ協力シテ生産者ト消費者トノ間ヲ接近セシメルヤウニシテ、御互ニ其間ニ無益ナ消エテ行クモノニ對シマシテ按排致シマスルナラバ、生産者モ宜シ消費者モ宜イト考ヘテ居ル譯デアリマス、是ガ私共ガ常ニ心シテ此指導助成ヲ致サナケレハナラヌト心得テ居ル所ノ對策ノ一一ナッテ居ルノデアリマス、而シテ只今段々御話ノアリマシタ此數量ノコトデアリマスガ、成程海外カラ參リマス輸入卵ノ數字モ出テ居リマセウ、併シ先刻來申上ゲルヤウニ、内地ニ於ケル生產ノ鶏卵ノ數モ相當ニ殖エテ參ッテ居ルノデアリマスカラ、成程六圓ト四圓五十錢ノ間デハ一厘強ノ其處ニ差ガアリマセウ、併シ過日來申上ゲマスルヤウニ、矢張是ハ國民生活ニ關係アルモノデアリマス、殊更ニ引

○小山政府委員 私ハ此場合ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマスルノハ、副業獎勵ノコトニ付キマシテハ、豫テ其經濟ノ御協賛ヲ得テ、農林省ト致シテハ出來得ルダケノ努力ヲ致シテ居リマスガ、昨年ノ秋上野ニ副業展覽會ヲ開催致シマシタ、農林當局ニ於テモ只今山内君ノ御述ニナリマスルヤウナ御趣旨ニ對シテモ、之ニ副ヒタイト考ヘマシテ、副業展覽會ハ相當ナ規模ヲ以テ開催致シマシタ、沟ニ畏イコトデアリマスケレドモ、攝政殿下ニ於カセラレマシテモ亦各宮ニ於カセラレマシテモ、既ニ御承知ノ如ク副業展覽會ニ行啓ガ

ヲ御覽ニナリ、殊ニ此養鷄業ニ對シテ
ハ、特ニ御目ヲ留ラレマシテ、東京市
中ニ於ケル生産ノ狀態、全國ニ於ケル
養鷄——鷄卵ノ生産狀態及其荷造方
法、外國卵トノ關係等モ篤ト御覽ニナ
リマシタヤウナ譯ニアリマス、當局ト
致シマシテハ洵ニ非常ナル光榮ト存ジ
テ居リマスト共ニ、深ク御上ノ思召ノ
在ル所ヲ體シマシテ、益此方面ニ努力
致シタイト努メテ居ルヤウナ譯ニアリ
マス、私ハ特ニ此事ヲ此機會ニ申上ゲ
テ置キマス

ノモノハ不明 確デアル、所ガ私ノ友人
ノ伊藤君カラノ手紙ニ依リマスト、養
鷄ハ非常ニ困難ナ事業デアル、併ナガ
ラ此頃ハ色ニ研究サレタ結果、病鷄デ
アルトカ、或ハ卵ヲ少ク生ム鷄ヲ排斥
スルトカ、或ハ飼料ノ購入方法ヲ按排
スルトカ、今小山政務次官ガ理想トシ
テ御述ニナッタヤウナ點ヲ實行シテ居
ル、其人ノ收支計算ニ依リマスト——
政府ノ方ハ一箇年ニ一百一個生ミ、六
年ノ内ニ一百六、七個マデ生ム計算ニ
達スルノデアリマスガ、伊藤君ノ計算
ニ依リマスト、只今デ既ニ百五十個ヲ
生マシテ居ル、ソレデ一個五錢ト致シ
マシテ七圓五十錢ト云フ收入ガアル、
之ニ糞其他デ一年ニ八十三錢ノ收入ガ
アル、糞ハ一圓ニ付テ十二貫目デアル
ガ、一年ニ丁度十貫目デアルカラ八十
三錢、ソレカラ支出ノ方ハドウデアル
カト云フト、飼料ニ一日一羽一錢五厘
一箇年ニ五圓四十七錢要ル、其他雜費
ガ一羽ニ付テ一箇年五十錢、サウスル
ト五圓九十七錢、勿論其外ニ雛ヲ育テ
マス所ノ手數ト云フモノガアリマス
ガ、ソレニハ又羽毛其他ノモノガアル、
カラ、差引イテ無シト云フコトニナル、
只今申シマシタ所ノ數字ニ依テ、名古
屋「コーチン」ノ如キハ一羽デ二圓三十
六錢ノ利益ガアル、而モ是ハ中立業者
ヲ廢メテ、自分デ勝手ニ賣ツテ、サウシテ
之ヲ多量ニ扱フ所ニ賣ツテ居ル、此人ハ
斯ウ云フ計算ヲシテ居ル、此人ハ地方

○小山政府委員　先刻長田君ノ御尋ノ際ニモ御答申上ゲマシタカ、是ハ千葉ノ試驗場デ各國ノ卵鳥肉鳥、卵、肉、兩鷄ヲ養フト云フ場合ニハ如何ナル方法デアリマスカ、其方法ヲ御示シヲ願ヒタイ

○奥村委員　政府ノ指導方法ニ付テハ、唯大綱ダケノヤウニ思フガ、實際ニ下ニナリマシタノデ、一般ノ人ニ向ッテ養鷄ヲ勸メ、又農村ノ比較的知識ノ少イ人ニ向ッテ之ヲ勸メル上ニ於テ、非常ニ精神上ニ於テ違ッテ來ル、故ニドウシテモ引下ハ困ルト云ウテ居リマスガ、政府ハ此頃引下ダマシタ基本數ヲ御説明ニナリマシタガ、之ヲモウ少シ具體的ニ御説明ニ預リタイト思フ

○小山政府委員　產卵能率ノコトニ付テ實際ノ經驗家ノ御話ガゴザイマシタガ、モウ少シ具體的ノ説明ト云フコトデアリマスカ　先刻來屢此數字ヲ以テ申上げ、施設ノ概要ヲ御説明申上げタノデアリマスガ、ドウモ自分トシテ質疑ヲ致シタイノハ此點ニ付テ斯ウ云フ意見ノ相違ガアルガ、ドウデアルカト云フコトヲ御示シ下サイマスレバ申上ゲマスガ、或ハ先刻申上ゲタ所デ御諒承願イマスマイカ

○小山政府委員　先刻長田君ノ御尋ノ際ニマスカラ、官廳カラ御頼ミガナクトモ、各農村ニ行ッテ農村振興ノ演説ノ傍ラ副業ヲ勸メテ居ル、然ルニ今回ノ引下ニナリマシタノデ、一般ノ人ニ向ッテ

用ノモノヲ集メテ飼育致シテ居リマス、而シテ其品質ニ依リ飼育ノ方法、飼料ノ關係等ニ付テ試驗ヲ致シテ居リマス、例ヘバ肉鳥ト致シマシテハ成ルベク太ラセナケレバナリマセヌカラ、ソレカラニハ去勢ヲ致シマシテ太ラセルト云フヤウナ方法モ致シテ居ル、ソレカラ先刻申上ゲマシタガ、産卵能率ヲ増セル爲ニ電氣應用ヲ致シマシテ、サウシテ鶏ノ寢ル時間ヲ少クシテ産卵ノ能率ヲ舉ゲシムルト云フ方法、又是ハ餘程至難ナ事デアリマスケレドモ、此機會ニ申上ゲテ置イテモ宜シウゴザイマスガ、支那ノ卵ハ色ガ總テ赤イノデアリマス、日本ノ卵ニハ赤イノト、白イノトアリマス、而シテ最モ産卵能率ガ多イ、而シテ肉鳥トシテモ市場ニ聲價ヲ舉ゲテ居リマス所ノ名古屋「コーチン」ト云フヤウナモノハ、本來ノ性質上卵ガ赤イノデアリマス、仍テ支那ノ卵ト間違ヘラレ易イノデアリマシテ、當業者ノ方デハ赤イ卵ヲ市中ニ出セバ支那卵ト間違ヘラレ易イノデアリマスレバ、是ハ皆内地卵デアリマス、故ニ支那卵ト日本卵トハ市中ニアリマスモノデ白イ卵ヲ御買ナヤウナコトモ研究シテ居ルノデアリマスガ、細カイ鳥ノ餌ヲドウ云フ風ニヤルカ、十羽ニ付テ面積ガドウナルカ、其肉ノ太リ方ガドウカト云フヤウナヨ

トニナリマスト、是ハ技術ノ方ニ屬シ
マス、若シ此委員會トシテノ御要求ガ
アリマスレバ、其専門ノ技師ヲ呼ビマ
シテ御説明ヲ申上ゲマシテモ宜シウゴ
ザイマス

○加藤委員長 尚ホ此第三類ニ付テ御質問ガアリマスカ

○奥村委員 ソレデハ卵ノ問題ハ後日又委員會ノ皆様ノ御意図ニ依テ、詳シイ御説明ヲ承ルコトガ出來マシタナラバ結構デアリマスガ、是デ此問題ハ打ちリマス、次ハ「コンデンス、ミルク」ノ事ニ付テ御尋ヲ致シマス、是ハ先程來神部君或ハ其他カラ詳シク御尋ニナリ、當局モ御答ニナッテ居リマスガ、多數ノ中ニハ舶來品ヲ慕フトカ何トカ云フ思想ニ驅ラレテ、一罐ニ付テ二十錢モ高イ所ノ練乳ヲ使フ癖ガアルガ、斯ウ云フコトハ私ハ政府ガ少シ御考ニナレバ、其邊ノ誤解ヲ解クコトハ容易イト思フノデアリマス、此頃日本ニ粉乳ガ入りマスガ、今回ハ一ト二トニ分ケテ居リマス、所デ「ベニヤ」板ナドヲ製造スルトキニ必ズ使フ塗料トシテ「カゼイン」と云フノガ濱洲カラ這入ッテ來マスガ、是ハ最近濱洲ノ方ニ入ラナクナッタ、是ハ日本ヘ塗料トシテ入レルヨ申シテ居リマス、此「カゼイン」ハ牛乳云フノデ、濱洲ノ方デハサウシテ來タト云フヤウナコトヲ、日本ノ當業者ハ申シテ居リマス、此「カゼイン」ハ牛乳ノ蛋白質ヲ乾シタモノデアッテ、而モ北

海道デハ「バタ」ヲ取ッタ糟デアッテ、一升目方ハ五百匁位デ三錢カ四錢位デ販賣サレル、然ルニ日本ヘ粉乳ガ這入ッテ十六種類モアルサウデアリマスガ、其種類ニハ分析表ガ附イテ居リマセヌ、

此粉乳ヲ用ヒル方面ノ人ハ、家庭ノ色々ノ事情デ手間ノ掛カラヌコトヲ希望スルノデ、全乳ヨリハ練乳ヲ使ヒ、練乳ヨリハ携帶ニ便ナル粉乳ヲ使ヒマスガ、此粉乳ニ對スル知識ガナインデ、極端ナヤウデアリマスガ「バタ」ヲ取ッタ糟ニ幾ラカ混物ヲシタ物ヲ粉乳トシテ一般ガ買ウテ居ル、ソレデアルカラ、

先程來申ス通リ、廣告、宣傳ノ費用ヲ入レテモ、尙ホ内地品ト戰ッテ行ク餘裕ヲ持ツテ居ルノデアリマス、先程來ノ政府ノ答辯ニ依ルト、扱フ者ハ利益サヘアレバ、ドンナ商品デモ扱フカラ、其弊ヲ矯メルコトガ出來ナイト仰シヤツタガ、農耕地ニ使フ肥料ニモ分析表ヲ附ケテ居リマス、最近ハ五段百姓デモ是ハスウダ、何ハ斯ウダト云フコトヲ見テ居ルノデ、ソレニ依テ値段ヲ附ケルト云フヤウニ馴ラサレテ來タノデアリマスモ此制度ヲ御用ヒニナルナラバ、外來カラ、此粉乳ニ於テモ「ミルク」ニ於テ

○石崎農林省畜産課長 分リマシタ、

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方ハ動物カラ取ッタ其儘ノ脂肪分ヲ

含ンデ居ルガ、外國ノハ日ガ經ツト腐敗

シ易イ、植物脂肪ヲ混ゼテ居ル、斯ウ云

フ關係デ保健ノ上ニ於テモ重大ナ關係

ヲ持ツテ居ルモノデアルカラ、分析表ヲ

御附ニナルカドウカト云フ御考ヲ承リ

タイノデアリマス

○石崎農林省畜産課長 分リマシタ、

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方デ取締ル上ニ於テ、又國產獎勵ノ

上ニ於テヒ必要ナコトデアルカラ、丁度肥料ヲ各府縣ニ於テ取締ツテ居ルヤ

博士鈴木梅太郎氏ガ取ツタ試験ノ結果

ハ、内地ノ品物ノ方ガ新シイダケ優ツテ

居ル、斯ウ云フ證明ヲ與ヘラレテ居ルノ

デアリマス、又「ミルク」ノ中ニ於キマ

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方ハ動物カラ取ッタ其儘ノ脂肪分ヲ

含ンデ居ルガ、外國ノハ日ガ經ツト腐敗

シ易イ、植物脂肪ヲ混ゼテ居ル、斯ウ云

フ關係デ保健ノ上ニ於テモ重大ナ關係

ヲ持ツテ居ルモノデアルカラ、分析表ヲ

御附ニナルカドウカト云フ御考ヲ承リ

タイノデアリマス

○石崎農林省畜産課長 分リマシタ、

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方デ取締ル上ニ於テ、又國產獎勵ノ

上ニ於テヒ必要ナコトデアルカラ、丁度肥料ヲ各府縣ニ於テ取締ツテ居ルヤ

博士鈴木梅太郎氏ガ取ツタ試験ノ結果

ハ、内地ノ品物ノ方ガ新シイダケ優ツテ

居ル、斯ウ云フ證明ヲ與ヘラレテ居ルノ

デアリマス、又「ミルク」ノ中ニ於キマ

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方ハ動物カラ取ッタ其儘ノ脂肪分ヲ

含ンデ居ルガ、外國ノハ日ガ經ツト腐敗

シ易イ、植物脂肪ヲ混ゼテ居ル、斯ウ云

フ關係デ保健ノ上ニ於テモ重大ナ關係

ヲ持ツテ居ルモノデアルカラ、分析表ヲ

御附ニナルカドウカト云フ御考ヲ承リ

タイノデアリマス

○石崎農林省畜産課長 分リマシタ、

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方デ取締ル上ニ於テ、又國產獎勵ノ

上ニ於テヒ必要ナコトデアルカラ、丁度肥料ヲ各府縣ニ於テ取締ツテ居ルヤ

博士鈴木梅太郎氏ガ取ツタ試験ノ結果

ハ、内地ノ品物ノ方ガ新シイダケ優ツテ

居ル、斯ウ云フ證明ヲ與ヘラレテ居ルノ

デアリマス、又「ミルク」ノ中ニ於キマ

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方ハ動物カラ取ッタ其儘ノ脂肪分ヲ

含ンデ居ルガ、外國ノハ日ガ經ツト腐敗

シ易イ、植物脂肪ヲ混ゼテ居ル、斯ウ云

フ關係デ保健ノ上ニ於テモ重大ナ關係

ヲ持ツテ居ルモノデアルカラ、分析表ヲ

御附ニナルカドウカト云フ御考ヲ承リ

タイノデアリマス

○石崎農林省畜産課長 分リマシタ、

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方デ取締ル上ニ於テ、又國產獎勵ノ

上ニ於テヒ必要ナコトデアルカラ、丁度肥料ヲ各府縣ニ於テ取締ツテ居ルヤ

博士鈴木梅太郎氏ガ取ツタ試験ノ結果

ハ、内地ノ品物ノ方ガ新シイダケ優ツテ

居ル、斯ウ云フ證明ヲ與ヘラレテ居ルノ

デアリマス、又「ミルク」ノ中ニ於キマ

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方ハ動物カラ取ッタ其儘ノ脂肪分ヲ

含ンデ居ルガ、外國ノハ日ガ經ツト腐敗

シ易イ、植物脂肪ヲ混ゼテ居ル、斯ウ云

フ關係デ保健ノ上ニ於テモ重大ナ關係

ヲ持ツテ居ルモノデアルカラ、分析表ヲ

御附ニナルカドウカト云フ御考ヲ承リ

タイノデアリマス

○石崎農林省畜産課長 分リマシタ、

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方デ取締ル上ニ於テ、又國產獎勵ノ

上ニ於テヒ必要ナコトデアルカラ、丁度肥料ヲ各府縣ニ於テ取締ツテ居ルヤ

博士鈴木梅太郎氏ガ取ツタ試験ノ結果

ハ、内地ノ品物ノ方ガ新シイダケ優ツテ

居ル、斯ウ云フ證明ヲ與ヘラレテ居ルノ

デアリマス、又「ミルク」ノ中ニ於キマ

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方ハ動物カラ取ッタ其儘ノ脂肪分ヲ

含ンデ居ルガ、外國ノハ日ガ經ツト腐敗

シ易イ、植物脂肪ヲ混ゼテ居ル、斯ウ云

フ關係デ保健ノ上ニ於テモ重大ナ關係

ヲ持ツテ居ルモノデアルカラ、分析表ヲ

御附ニナルカドウカト云フ御考ヲ承リ

タイノデアリマス

○石崎農林省畜産課長 分リマシタ、

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方デ取締ル上ニ於テ、又國產獎勵ノ

上ニ於テヒ必要ナコトデアルカラ、丁度肥料ヲ各府縣ニ於テ取締ツテ居ルヤ

博士鈴木梅太郎氏ガ取ツタ試験ノ結果

ハ、内地ノ品物ノ方ガ新シイダケ優ツテ

居ル、斯ウ云フ證明ヲ與ヘラレテ居ルノ

デアリマス、又「ミルク」ノ中ニ於キマ

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方ハ動物カラ取ッタ其儘ノ脂肪分ヲ

含ンデ居ルガ、外國ノハ日ガ經ツト腐敗

シ易イ、植物脂肪ヲ混ゼテ居ル、斯ウ云

フ關係デ保健ノ上ニ於テモ重大ナ關係

ヲ持ツテ居ルモノデアルカラ、分析表ヲ

御附ニナルカドウカト云フ御考ヲ承リ

タイノデアリマス

○石崎農林省畜産課長 分リマシタ、

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方デ取締ル上ニ於テ、又國產獎勵ノ

上ニ於テヒ必要ナコトデアルカラ、丁度肥料ヲ各府縣ニ於テ取締ツテ居ルヤ

博士鈴木梅太郎氏ガ取ツタ試験ノ結果

ハ、内地ノ品物ノ方ガ新シイダケ優ツテ

居ル、斯ウ云フ證明ヲ與ヘラレテ居ルノ

デアリマス、又「ミルク」ノ中ニ於キマ

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方ハ動物カラ取ッタ其儘ノ脂肪分ヲ

含ンデ居ルガ、外國ノハ日ガ經ツト腐敗

シ易イ、植物脂肪ヲ混ゼテ居ル、斯ウ云

フ關係デ保健ノ上ニ於テモ重大ナ關係

ヲ持ツテ居ルモノデアルカラ、分析表ヲ

御附ニナルカドウカト云フ御考ヲ承リ

タイノデアリマス

○石崎農林省畜産課長 分リマシタ、

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方デ取締ル上ニ於テ、又國產獎勵ノ

上ニ於テヒ必要ナコトデアルカラ、丁度肥料ヲ各府縣ニ於テ取締ツテ居ルヤ

博士鈴木梅太郎氏ガ取ツタ試験ノ結果

ハ、内地ノ品物ノ方ガ新シイダケ優ツテ

居ル、斯ウ云フ證明ヲ與ヘラレテ居ルノ

デアリマス、又「ミルク」ノ中ニ於キマ

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方ハ動物カラ取ッタ其儘ノ脂肪分ヲ

含ンデ居ルガ、外國ノハ日ガ經ツト腐敗

シ易イ、植物脂肪ヲ混ゼテ居ル、斯ウ云

フ關係デ保健ノ上ニ於テモ重大ナ關係

ヲ持ツテ居ルモノデアルカラ、分析表ヲ

御附ニナルカドウカト云フ御考ヲ承リ

タイノデアリマス

○石崎農林省畜産課長 分リマシタ、

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本ノ方デ取締ル上ニ於テ、又國產獎勵ノ上ニ於テヒ必要ナコトデアルカラ、丁度肥料ヲ各府縣ニ於テ取締ツテ居ルヤ

博士鈴木梅太郎氏ガ取ツタ試験ノ結果

ハ、内地ノ品物ノ方ガ新シイダケ優ツテ

居ル、斯ウ云フ證明ヲ與ヘラレテ居ルノ

デアリマス、又「ミルク」ノ中ニ於キマ

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方ハ動物カラ取ッタ其儘ノ脂肪分ヲ

含ンデ居ルガ、外國ノハ日ガ經ツト腐敗

シ易イ、植物脂肪ヲ混ゼテ居ル、斯ウ云

フ關係デ保健ノ上ニ於テモ重大ナ關係

ヲ持ツテ居ルモノデアルカラ、分析表ヲ

御附ニナルカドウカト云フ御考ヲ承リ

タイノデアリマス

○石崎農林省畜産課長 分リマシタ、シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本ノ方デ取締ル上ニ於テ、又國產獎勵ノ上ニ於テヒ必要ナコトデアルカラ、丁度肥料ヲ各府縣ニ於テ取締ツテ居ルヤ

博士鈴木梅太郎氏ガ取ツタ試験ノ結果

ハ、内地ノ品物ノ方ガ新シイダケ優ツテ

居ル、斯ウ云フ證明ヲ與ヘラレテ居ルノ

デアリマス、又「ミルク」ノ中ニ於キマ

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方ハ動物カラ取ッタ其儘ノ脂肪分ヲ

含ンデ居ルガ、外國ノハ日ガ經ツト腐敗

シ易イ、植物脂肪ヲ混ゼテ居ル、斯ウ云

フ關係デ保健ノ上ニ於テモ重大ナ關係

ヲ持ツテ居ルモノデアルカラ、分析表ヲ

御附ニナルカドウカト云フ御考ヲ承リ

タイノデアリマス

○石崎農林省畜産課長 分リマシタ、シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本ノ方デ取締ル上ニ於テ、又國產獎勵ノ上ニ於テヒ必要ナコトデアルカラ、丁度肥料ヲ各府縣ニ於テ取締ツテ居ルヤ

博士鈴木梅太郎氏ガ取ツタ試験ノ結果

ハ、内地ノ品物ノ方ガ新シイダケ優ツテ

居ル、斯ウ云フ證明ヲ與ヘラレテ居ルノ

デアリマス、又「ミルク」ノ中ニ於キマ

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方ハ動物カラ取ッタ其儘ノ脂肪分ヲ含ンデ居ルガ、外國ノハ日ガ經ツト腐敗シ易イ、植物脂肪ヲ混ゼテ居ル、斯ウ云フ關係デ保健ノ上ニ於テモ重大ナ關係ヲ持ツテ居ルモノデアルカラ、分析表ヲ御附ニナルカドウカト云フ御考ヲ承リタイノデアリマス

○奥村委員 粉乳ハドウデスカ

○石崎農林省畜産課長 粉乳ハ外國品モ日本品モ書イテ居リマセヌ、普通ニ

モ書イテ居リマセヌ、

○奥村委員 私ノ御尋スルノハ、發育

ノ體ノ肥育ニハ一向ナラスト云フコトヲ

ルト思ツテ居ル、尙ホ聞ク所ニ依ルト、

ノガ外國カラ來ルマデニハ、植物ノ脂

肪カラ取ッタモノヲ入レテ居ルカラ、人

體ノ肥育ニハ一向ナラスト云フコトヲ

番五十二ノ鳥獸肉類ノ丁ノ鯨肉ニ付キ

マシテ、現行率ハ從價ノ三割トナッテ居

○奥村委員 尚ホ伺ヒマスガ、是ハ稅

アリマス、又「ミルク」ノ中ニ於キマ

シテモ、練乳ノ方ニ於キマシテモ、日本

ノ方ハ動物カラ取ッタ其儘ノ脂肪分ヲ

含ンデ居ルガ、外國ノハ日ガ經ツト腐敗

シ易イ、植物脂肪ヲ混ゼテ居ル、斯ウ云

フ關係デ保健ノ上ニ於テモ重大ナ關係

ヲ持ツテ居ルモノデアルカラ、分析表ヲ

リマスガ、今回ノ改正表ハ一割五分トナツテ居リマス、是ガ半減サレタ理由ヲ御尋シタイト思ヒマス

○小山政府委員 御答致シマス、鯨肉

ノコトハ先刻御答申シマシタ、之ハ關

西方面デ嗜好セラレテ居ルモノデ、牛

肉ト相對シテ其需要ガ段々多クナツテ

居ルヤウデアリマス、併ナガラ只今ノ

所デハ鯨肉トシテ我國ニ這入ッテ來ル

モノハ殆ドアリマセヌ、是ハ主トシテ

我國ノ鯨捕業ノ方デ致シテ居ルノデア

リマス、東京方面デハ殆ド鯨肉ヲ嗜好

致シテ居リマセヌ、而シテ先刻モ申シ

マシタヤウニ諾威ガ露領勘察加…

○奥村委員 御説明中デアリマスガ、

一寸御参考ニ申シタイノハ、約十六、七

年前ニ現在ノ率ヲ御制定ニナリマシタ

當時カラ見ルト、只今ノ市價ト云フモ

ノハ三倍半ニナツタモノモアリ、二倍六

分ニナツタモノモアリ、一倍六分ニナツ

タモノモアリ、中ニハ四倍ニナツタモノ

モアル、然ルニ三割ノモノガ一割五分

デハ困ルト云フ當業者ノ陳述デアリマ

ス、ソレデ十三年ノ輸入統計書ニハ現

レテ居リマセヌガ、是ハ全ク無イノデ

アリマセウカ、無イノナラバ又御考モ

アリマセウ

○小山政府委員 只今御答申上ゲマシ

タコトニ續イテ御答ヲ致シマス、ソレ

デ捕鯨ノ方ノモノハ多クハ油ヲ取ル目

的デアリマシテ、肉ヲ食用ニ供スルト

云フヤウナコトハ、日本ノ捕鯨業ガ致

シテ居ルノデアリマス、此稅番ノ上ノ
率ニ於キマシテ、更ニ現狀ノ儘デモ差

支ナカラウ妥當デアルトス様ニ考ヘタ

ノデアリマス

○奥村委員 ソレデハ尙進ミマシテ五

十二番ノ「イ」ト「ロ」ニ付キマシテ…

「イ」ノ方ノ三圓六十錢ヲ四圓二十錢ニ

ナサレタ、一圓九十錢ヲ二圓二十五錢ニ

ニ爲サレタノト、一割五分ニ爲サレタ

ノトハ矛盾ガアリハセヌカ、是モ亦一

種ノ嗜好品デアリマスシ、又其率モ生

産高モ少イノデアリマス故ニ、當業者

ハ是モ三圓六十錢ノモノヲ十圓ニシテ

貴ヒタイトノ希望ヲ持ッテ居ルノデア

リマスガ、四圓二十錢ニナサレタ理由

ヲ承リタイ

○黒田政府委員 只今ノ御尋ハ、鹽鯨

ノ肉ニ付テ御尋ノヤウデアリマス、鹽

鯨ニ付キマシテモ今日ハ大體内地デ出

來テ居ルノデアリマシテ、殆ド輸入ガナ

イト云ウテモ宜イ位デアリマス、是等

モノデアリマシテ、必要ノ食料品ト云

ノ肉ト云フモノハ大體只今ノ御説ノ中

ニモアリマシタ通り、嗜好品ニ屬スル

モノデアリマシテ、必要ノ食料品ト云

フモノデモナイヤウデアリマス、先づ

大體ハ内地デ生産サレテ居ルノデアリ

マスカラシテ、大體一割五分ト云フ程

度ガ適當デアラウ、一割五分ヲ出シマ

スト云フト四圓二十錢位ニ當ルノデ

其從量稅ニ對シマシテ四圓二十錢ニ致

シタ次第デアリマス、一割五分ノ方カ

ラ算出ヲシテ參ッタノデアリマス

分ラヌ、之ヲ改正シナイノハドウ云フ
理由デアリマスカ、之ヲ一ツ御説明願

ヒタイト思フ

○飯塚委員 私ハ砂糖ノコトニ付テ一

寸御伺ヒシタイノデアリマスガ、實際砂糖ヲ

ガ、是ハ現行ノ通リ得適當デアルト云

フ風ニ必シモ考ヘテハ居リマセヌ、御

話ノ通リ砂糖ノ色相ニ依テ區別致シマ

シテ、第一カラ五マデ分ケテ居リマス

ガ、此十五號未滿ト云フモノガ一番多

ク這入ッテ來テ居ル、然ルニ今日ハ「爪

哇糖ニ於キマシテ、或ハ十八號未滿或

ハ二十一號未滿ノ砂糖ガ出來ルニモ拘

ラズ、ソレヲ着色シテ十五號未滿ノモ

ノニシテ輸入シテ居ルト云フコトデア

ルガ、果シテ是ハドウ云フ譯デアルカ

ト云フ御尋デアリマスガ、御話ノ通リ

サウ云フコトハアルヤウニ考ヘテ居ル

ノデアリマス、以前ニハ大體此製糖ハ

—原料ニナリマス砂糖ハ大抵十五號

未滿デアッタ、所謂黃双ト云フモノデ

入致シマシテ、之ヲ精製致シテ内地デ

消費スル五種糖ト云フモノヲ搆ヘテ

アッタ、サウシテ十五號未滿ノモノヲ

居ルナドト云フコトハ、全ク愚ナコト

スルモノヲ使ッテ居リマス、所ガソレヲ

モ進ンデ參リマスルト稅率ガ高イモノデ

シテモ御話ノヤウニ三號並ニ四號ニ屬

シテ、所謂中双ト申シマスモノヲ黃双

ニ致シマシテ、安イ三圓十錢ノ稅率デ

入レテ、サウシテソレヲ精製糖ノ原料ニ使フト云フコトガ利益デアリマヌカラ、サウ云フコトガ行ハレルノデアリマス、サウ云フコトハ事實アラウト考ヘマス、ソレ故ニ其點カラ申シマスルトニ、三・四ト云フモノハ或ハ之ヲ一ツニ致シマシテ、即チ原料ニナリマスルモノト、精製シタモノト分ケテ税率ヲ設ケルト云フコトハ、御話ノヤウニ或ハ適當ナモノデモアラウカト思ヒマスガ、左様致シマスルト税率ヲ定メマス上ニ於テ何レヲ採ルカ、一番下ノ三圓號、十九號ノ所ニナリマスト、砂糖ハ百十錢ニナリマスルト、是ハ相當上ノ方ニ良イモノガ、二十一號未滿トカ、二十一號ノ間ニ權衡ヲ失スルノデアリマス、又關稅率ヲ動カス場合ニハ同時ニ内地ノ製糖業ト云フモノモ考ヘナケレバナラナインデアリマシテ、申上ゲルマデモナク臺灣ニ於テハ獎勵ノ結果今目ニ於テハ大體七億五千萬餘斤ト云フモノガ、生産サレテ、之ニ内地ノ一億三千萬斤ヲ加ヘマスルト云フト、八億八千萬斤位ニナリマス、大體内地ノ消費ノ十億ニ對シテ、其大部分ヲ内地デ供給スル狀況デアリマス、是等ニ對シマスル影響ヲ考慮シナケレバナラナイ、砂糖消費稅ガ此二、三、四、五種ト云フ又一方内地ノ砂糖消費量ノ關係モ考慮致サナケレバナラナイノデアリマス、又一方内地ノ砂糖消費稅ガ此二、三、四、五種ト云フ

大臣モ度ニ申シマシタ通り、第二次ノ整理ト致シマシテハ砂糖消費稅ニ付テモ相當研究致ス考ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、ソレ等トノ關係モ考慮シナケレバナラヌト云フヤウナ複雜ナ關係ガアルノデアリマシテ、單リ關稅ノミヲ此際改正スルト云フコトハ適當デナイト考ヘタノデアリマス、隨テ砂糖ノ關稅ニ付キマシテハ、砂糖消費稅ト一緒ニ合セマシテ尙ホ考究致シタイト云フ考ヲ持チマシテ、差當リ今回ハ現行ノ儘据置キマシタ次第デアリマス、内地ノ消費稅ト相俟チマシテ、更ニ考究致シタイ考ヲ持ッテ居リマス

○堀切委員 每度御手數甚ダ恐縮デア
リマスガ、同志山本君ヨリ最近五年間
ノ輸入統計十萬圓以上ノ——千圓以下
ハ切捨テテ宜イノデアリマスガ、先般
頂戴致シタノハ十三年一年間ダケデア
リマス、其數年間ニ亘テノ統計ヲ頂戴
致シタイ、之ニ依テ輸入ノ趨勢等モ分
リマスシ、今後ノ大勢ヲ察スルコトモ
出来マス、ドウゾ是ハ委員全部ニ御配
リヲ願ヒタイ

○工藤委員 私モ御願ガアリマス、大
體ニ關スル事デスガ、「其ノ他」ト云フ
ノガ非常ニアルヤウデスガ、倉元君ノ
驢馬ハ馬カト云フ問題モ起ルノデアッ
テ、其種屬モ自然取扱上分ッテ居ルト思
ヒマスカラ、此「其ノ他」ト云フモノヲ
明カニシテ貰ヒタイ、ソレハ不可能ナ
事デナカラウト思ヒマス、多分品目ニ
付テハ自然實際ニ取扱ツテ定メシ分ッテ
居ルト思ヒマス、「其ノ他」ノ中ノ主ナ
數量、全部ハ舉ゲラレマセヌガ、取扱上
實際ニ於テ私等モ關稅ノ問題ヲ議スル
ニ當ツテ必要デスカラ、此席デ明カニシ
テ貰ヒタイ、私ノ質問ノ際ハ材料ニシ
タイト思ヒマスカラ、其際デ宜イガ、出
來ルダケ御調ヲ願ヒタイ

○黒田政府委員 堀切君ノ御注文ハ五
年間デゴザイマスカ
○堀切委員 長イ程宜イノデスカ、先
づ五年デ我慢シャウト云フノデス

○黒田政府委員 十萬圓以上五箇年デ
スカ
○堀切委員 サウデス
○黒田政府委員 ソレハ一ツ出來ルダ
ケ致シテ見マス、ソレカラ 工藤サンノ
大體ドノ位ノ數量デアルカト云フコト
デスガ、是モ出來ルダケ致シテ見マス、
隨分「其ノ他」ノ中ニハ極ク輕微ナモノ
モアリマスガ、「其ノ他」ト云フ意味ハ、
「別號ニ掲ケサル」ト云フヤウナモノモ
デスカ

○工藤委員 サウデス、恐ラク全體ヲ
通ジタラ「其ノ他」ハ可ナリ多イ、其主
ナル物ヲ願ヒタイ

○工藤委員長 實ハ今日ハ尙ホ第四類
ニ這入リタイト考ヘテ居ツタンデスケ
レドモ、既ニ七時間以上皆様ガ御盡力
下ヌスタンデスカラ、此上繼續スルコト
ハ困難デアリマスノデ、今日ハ是デ休
會スルコトニシマス、ソレデ明日ハ日
曜デアリマスガ、成ベクハ繼續シタイ考
デアリマシタケレドモ、豫算ノ方ガ分
科會ニ這入ル旁々デ、速記ナドノ都會
モアリマスノデ、己ムヲ得ズ明日一日
ハ休ミマシテ、其代リニ明後日ハ皆様
方ニ尙ホ一層ノ御奮勵ヲ願ヒマス

午後五時二分散會

大正十五年二月十三日印刷

大正十五年二月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社